

令和5年版

第50号

消防年報



つくば市消防本部

つくば市の花・鳥・木

平成 9 年 11 月 30 日制定



花

ホシザキユキノシタ

筑波山のみに自生するユキノシタ科の野草の一種で、かれんで美しい白い花を咲かせます。繁殖力があり、市天然記念物になっています。

昭和 63 年 1 月 31 日つくば市指定天然記念物

フクロウ

農村・人里環境を代表する鳥で森の哲学者ともいわれています。知恵と技術の象徴であり、学園都市を擁するつくば市にふさわしい鳥です。

鳥



ケヤキ

市内の随所で見られ、広く市民に親しまれている木です。

大きくて力強く、無限の発展を秘めている、つくば市にふさわしい木です。

木

は じ め に

この年報は、令和5年中のつくば市消防の状況について、諸資料を総合的に集録し、消防現勢及び消防行政の現況を明らかにしたものであり、各方面で資料として広く利用され、地域防災の一助になれば幸いです。

なお、災害統計は暦年、事業概要は会計年度をもって表わしています。

令和6年6月

つくば市消防長 青木孝徳

つ く ば 市 消 防 本 部 消 防 歌

花 の 消 防 隊

作 詞 松 本 英 佑
作 曲 只 野 通 泰

一

むらさき薫る 筑波嶺の

ふもとに咲いた 男花

勇猛果敢 敏速の

誓いも堅く 警防の

使命に生きる 花の消防隊

二

世の為 人の為ならば

火の粉もかぶる 心意気

細心冷静 沈着の

瞳は清く 輝いて

倅せ見張る 花の消防隊

三

世界に誇る 学園の

ひらめく日の丸を 仰ぐとき

みなぎる志気 踊る胸

日本の明日を 築くため

命を燃やす 花の消防隊

インフォメーション

(2024 年 4 月 1 日現在)

面積・人口・世帯	面 積	人 口	人口密度	世 帯 数
	※283.72km ²	254,949 人	898.6 人/km ²	116,904 世帯
予算・機構・人事	予 算	署・所	職員数	消防団員数
	51 億 9,213 万円 市民 1 人あたり 20,365 円	本 部 1 消防署 3 分 署 5	定数 365 人 実数 348 人	定数 950 人 実数 853 人
機械・施設	指揮・指令・消防車両	特殊車両	救急車	水 利
	指揮車 4 台 指令車 5 台 水槽付ポンプ自動車 8 台 普通ポンプ車 1 台 小型動力ポンプ積載車 1 台 非常用消防自動車 2 台	はしご車 2 台 救助工作車 3 台 化学車 1 台 大型水槽車 1 台 支援車 1 台 震災対応重機・重機搬送車 1 台 資材搬送車 1 台 ボートトレーラー 1 台	高規格救急車 9 台 非常用救急車 2 台	消火栓 2,603 基 防火水槽 2,235 基 (プール等含む)
予防	防火対象物	危険物施設	市民防火クラブ	消防音楽隊
	総数 10,423 件	製造所 5 貯蔵所 403 取扱所 211	クラブ数 11 クラブ員 884 名	専任講師 1 名 隊 員 33 名

※国土交通省国土地理院公表

令和 5 年中 火災・救急概要

火災・救急	火災件数	出火原因	救急件数	事故種別
	134 件 2.7 日に 1 件の割合で発生	1 放火及び放火の 疑い 39 件 2 たばこ 8 件 3 こんろ 7 件 3 電気配線 7 件	12,387 件 1 日あたり 33.9 件	1 急病 66.0% 2 一般負傷 12.0% 3 交通 7.9%

目 次

第 1 章 概況と沿革

1	つくば市の概況	1
2	つくば市の歴史	2
3	つくば市消防の沿革	3
4	消防機関の名称・配置	13
5	応援協定・業務協定	14
6	組織体制	15
7	消防本部の事務分掌	16
8	消防署の事務分掌	19
9	防火団体	20

第 2 章 資 料

第 1 節 総 務 編

1	令和 5 年度つくば市一般会計予算(歳出)	21
2	消防予算と人口・世帯の割合	21
3	人口・世帯数の推移	22
4	消防力の現勢	22
5	消防職員の配置	23
6	消防吏員の年齢表	25
7	消防吏員の勤務年数	26
8	消防職員の変遷（過去 10 年間）	26
9	消防職員の教養	27
10	職員表彰	28
11	公務災害	29

第 2 節 予 防 編

1	消防法第 7 条に基づく消防同意取扱い件数（申請別）	30
2	消防法第 7 条に基づく消防同意取扱い件数（用途別）	31
3	消防用設備等検査済証の交付件数	32
4	防火対象物関係申請・届出状況	33
5	火災予防条例関係申請・届出状況	34
6	指定催しの指定	34
7	防火対象物の現況	35
8	避難訓練実施状況	36
9	広報活動状況	37
10	防火対象物表示制度状況	37

11	防火・防災管理講習会の開催状況	37
12	管内危険物施設数	38
13	危険物製造所等許可件数	38
14	危険物製造所等完成検査実施件数	38
15	危険物規制事務手数料	39
16	予防技術資格者の認定状況	39
17	火薬類取締法における許可件数・事務手数料	39
18	消防音楽隊	40

第3節 警 防 編

1	消防車両等	41
2	消防水利	42
3	消防器具保有状況	43
4	消防機関の出動状況	46

第4節 消防指令編

1	高機能消防指令センター	47
2	高機能消防指令システム系統	49
3	消防無線配置状況	50
4	通報件数	50
5	気象情報発表件数	51
6	気象状況	52
7	気象観測最大最小値	52

第5節 火 災 編

1	火災概況	53
2	地区別火災件数及び損害額	54
3	月別・時間帯別火災件数	55
4	曜日別火災件数	56
5	過去10年間の火災件数推移	56
6	主な出火原因	56
7	過去3年間の主な出火原因	57
8	出火原因による主な発火源・経過・着火物	57
9	火災統計	58

第6節 救 急 編

1	救急出場状況	70
2	署所別救急出場件数及び搬送人員	70
3	過去5年間の事故種別と搬送人員の推移	71
4	月別救急出場件数及び搬送人員	72
5	曜日別救急出場件数及び搬送人員	73
6	時間帯別救急出場件数	73
7	現場到着所要時間別出場件数	74
8	収容所要時間別搬送人員	74
9	年齢区分別及び傷病程度別搬送人員	75
10	救急隊員の行った応急処置件数	76
11	応急手当講習会開催状況	77

第7節 救 助 編

1	事故種別出動及び活動件数	78
2	事故種別救助人員及び車両別搬送人員	78
3	事故種別出動人員及び活動人員	78
4	事故種別出動車両台数	79
5	事故種別活動車両台数	79

第8節 消 防 団 編

1	消防団の沿革	80
2	消防団員数	80
3	年齢・階級別消防団員数	81
4	消防団配備等の現況	81
5	消防団組織体制	82
6	火災出場件数及び出場人員	83
7	女性分団活動状況	83

第1章

概況と沿革



1 つくば市の概況

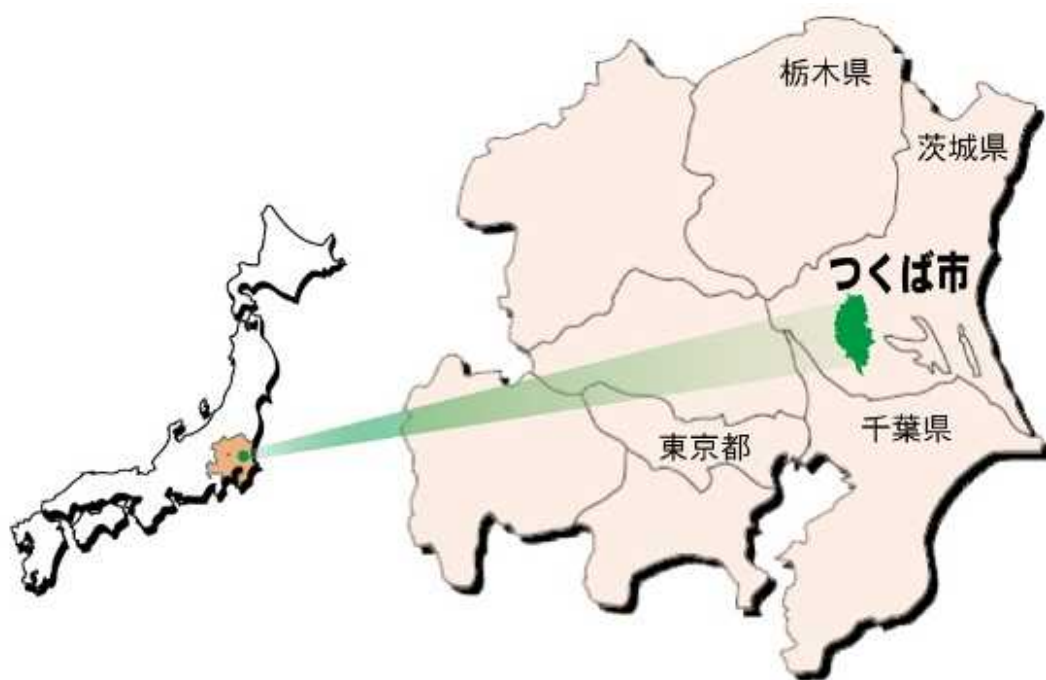
つくば市は、茨城県の南西部に位置し、茨城県の県庁所在地水戸市から南西に約 50 キロメートル、首都東京から北東に約 50 キロメートル、成田国際空港（成田市）から北西に約 40 キロメートルの距離に位置しています。面積は 283.72 平方キロメートルで、これは県内で 4 番目の広さになっています。

北に関東の名峰筑波山を擁し、東には我が国第 2 位の面積を有する霞ヶ浦を控え、あわせて水郷筑波国定公園に指定されています。

また、筑波山地域を除く市域の大部分は、筑波・稲敷台地と呼ばれる標高 20～30 メートルの関東ローム層に覆われた平坦な地形であり南北に流れる小貝川、桜川、谷田川、西谷田川などの河川は、周辺の平地林、畑地あるいは水田等と一体となって落ち着いた田園風景を醸し出しています。

市の中心部に位置する筑波研究学園都市は、東京等の国の試験研究機関等を計画的に移転することにより東京の過密緩和を図るとともに、高水準の研究と教育を行うための拠点的形成することを目的に国家プロジェクトとして建設されました。

つくばからノーベル賞受賞者も生まれるなど、研究機関等の集積をいかした世界的な科学技術拠点都市としての実績を着実に積み重ね、現在ではおよそ 2 万人の研究従事者を有する我が国最大のサイエンスシティとなっています。



2 つくば市の歴史

市 章



市章は、2つの「つ」を組み合わせ、図案化したもので、無限の発展とゆるぎない調和を表しています。ライトブルーは、澄んだ青空と SCIENCE（科学）を表し、ライトグリーンは輝かしい新緑と NATURE（自然）を表しています。

（平成元年4月11日制定）

江戸時代この地域一帯は、土浦藩土屋氏、谷田部藩細川氏などいくつかの領主の所領となり、明治維新に引き継がれます。

現在のつくば市を形成する旧6町村のうち大穂町、豊里町、谷田部町、桜村、筑波町の5町村は町村合併促進法により昭和30年前後に誕生しました。筑波郡大穂町は、昭和28年町制を施行、同年栗原村蓮沼を編入、翌31年吉沼村と合併し誕生しました。筑波郡豊里町は、昭和30年旭村、上郷町の配置分合で上郷町となり、同日豊里町と改名、翌年吉沼村の一部を編入し、誕生しました。筑波郡谷田部町は、昭和30年、谷田部町、真瀬村、（一部を除く）、島名村、小野川村、葛城村の1町4村が合併して誕生しました。新治郡桜村は、昭和30年、栄村、九重村、栗原村が合併して誕生しました。筑波郡筑波町は、昭和30年、筑波町、田井村、北条町、田水山村、小田村が合併して誕生、31年には

作岡村、32年には菅間村を編入しました。稲敷郡茎崎町、明治22年4月町村制の施行を契機に、小茎、高崎、上岩崎、下岩崎など11ヶ村を統合して誕生しました。

昭和38年9月に、研究学園都市の4つの候補地区（富士山麓、赤城、那須、筑波）の中から筑波が選ばれ閣議了解され、稲敷郡茎崎町を含めた5町1村は筑波研究学園都市を形成することとなり、開発・整備が進められました。

昭和60年に国際科学技術博覧会が開催されたのを機に、地元町村でも合併の機運が盛り上がり、「つくば」としての一体的な開発を目指し、昭和62年11月30日、学園都市を形成する3町1村が合併し、県内の自治体では20番目、全国では655番目の新市「つくば市」が誕生しました。以来2度の合併により、平成18年には人口が20万人を越え、平成19年4月に特例市に移行しました。

平成22年5月には、行政組織の一元化のため、つくば市誕生（昭和62年11月30日）以来の懸案事項であった新本庁舎を、つくばエクスプレス研究学園駅西側に開庁しました。

平成23年12月に、国際戦略総合特区に指定、平成25年3月には環境モデル都市に選定され、国際化などの環境整備は着々と進められております。また平成27年9月にはつくば市および周辺5市からなる筑波山地域が「日本ジオパーク」に認定され、令和4年4月にはスーパーシティ型国家戦略特別区域として区域指定されました。

市 民 憲 章

豊かな自然と悠久の歴史にはぐくまれたまち、つくば。

私たちは、異なった価値観や文化を認め合いながら、互いを尊重し、ともに手を取りあって、未来に向かって発展するまちをつくります。

1. 思いやりのあふれる、やすらぎのまち

1. 世界と日本の多様な文化が出会い、融け合うまち

1. 世界が集い、世界にはばたくまち

1. 人類の夢を実現する科学のまち

1. 水と緑、きれいな空気と青い空 一人間と自然と科学が調和しながら共存するまち

（平成10年11月30日制定）

3 つくば市消防の沿革

昭和 49 年	4 月	新治郡桜村上ノ室の旧九重村役場跡を仮庁舎として、筑南地方広域行政事務組合消防本部、消防署を発足（1 本部 1 署） 消防長事務取扱いに組合管理者、横田栄一谷田部町長が就任、消防本部次長兼消防署長事務取扱い渡辺良二消防司令ほか 28 人の職員を採用、うち 22 人が茨城県消防学校に入校する。 指令車を購入配置する。
	6 月	救急自動車を購入配置する。
	7 月	消防業務を開始する。 消防ポンプ自動車を購入配置する。
	8 月	日本船舶振興会から、救急自動車 1 台の寄贈を受ける。
	10 月	郵政省関東電波監理局から消防用無線電話装置基地局 1、移動局 5 の免許状が交付される。
昭和 50 年	11 月	消防本部、消防署新庁舎を筑波郡谷田部町春日 2458 の 2 に着工
	4 月	消防本部、消防署設置の政令指定を受ける。
	5 月	新消防庁舎竣工
	8 月	新庁舎に移転、業務を開始する。
	10 月	消防吏員 6 人採用（職員数 35 人）
昭和 51 年	11 月	救助隊結成、訓練を開始する。
	12 月	はしご付消防ポンプ自動車（32M級）を購入配置する。
	1 月	連絡車を購入配置する。 消防本部次長兼消防署長渡辺良二退職する。
	2 月	筑南地方広域行政事務組合事務局長補佐牧島等、消防本部次長兼消防署長に就任する。
	4 月	消防吏員 5 人採用（職員数 40 人）
昭和 52 年	6 月	消防本部 4 係制を 3 係制に改編する。（総務係、予防係、警防係）
	11 月	筑南広域圏消防連絡協議会を設立する。
	3 月	分署用車両として水槽付消防ポンプ自動車 2 台、指令車 2 台、救急自動車 1 台を購入する。 筑波郡筑波町上沢 3 番地に北部分署庁舎を着工
	4 月	分署用車両として救急自動車 1 台を購入する。
	5 月	消防吏員 43 人採用（職員数 83 人）
	6 月	広報車を購入配置する。
	7 月	筑波郡筑波町上沢 1 番地、筑南地方広域行政事務組合第一衛生センターを仮庁舎とし北部分署を設置、稲敷郡荃崎村小荃の荃崎村公民館を仮庁舎とし南部分署を設置し、水槽付消防ポンプ自動車、救急自動車、指令車各 1 車両ずつを配置し、業務を開始する。（1 本部 1 署 2 分署） 北部分署庁舎竣工 消防本部 3 係制を 2 係制に改編する。（総務係、警防係）
	8 月	北部分署、新庁舎に移転し業務を開始する。
	9 月	消防長横田栄一退職する。

		堀田乾次郎筑波町長が消防本部消防長事務取扱いに就任する。
昭和 53 年	11 月	稲葉勝行大穂町長が消防本部消防長事務取扱いに就任する。
	5 月	消防吏員 10 人採用（職員数 93 人） 茨城県救急医療情報コントロールシステム地域情報本部（ディス・プレイ装置）が通信指令室に設置される。
	8 月	ディス・プレイ装置稼働開始
昭和 54 年	12 月	機械器具置場兼危険物倉庫新築
	4 月	消防吏員 2 人採用（職員数 93 人）
	5 月	消防本部 2 係制を 3 課制に改編する。（総務課、予防課、警防課）
	9 月	消防吏員 1 人を採用（職員数 93 人）
昭和 55 年	3 月	自治省消防庁の消防研修協会から、調査研究のためドクターカーが配置される。 郵政省関東電波監理局から、救急無線電話設置、基地局の免許状が交付される。
		消防本部次長兼消防署長牧島等離任する。
	4 月	消防吏員 12 人採用（職員数 105 人）
	6 月	茨城県消防防災課副参事軍司尚四郎、消防本部次長兼消防署長に就任する。
	8 月	消防吏員 1 人採用（職員数 106 人）
昭和 56 年	12 月	消防吏員 1 人採用（職員数 106 人）
	3 月	日本損害保険協会から、救急自動車 1 台の寄贈を受ける。
	4 月	消防吏員 31 人採用（職員数 137 人） 南部分署庁舎竣工、新庁舎に移転し業務を開始する。 （谷田部町観音台 1 丁目 25 番地）
	6 月	指令車を購入配置する。
	9 月	テレホンサービス業務を開始する。
昭和 57 年	12 月	西部出張所用車両として水槽付消防ポンプ自動車を購入する。
	2 月	出動表示灯を設置する。 可搬用指令装置を購入配置する。
	3 月	通信指令室にシリーズコールシステムを導入する。
	4 月	消防吏員 4 人採用（職員数 140 人）
	5 月	消防本部次長兼消防署長軍司尚四郎離任する。 消防本部内に科学万博消防対策室を設置し、業務を開始する。 消防本部 3 課制を 3 課 1 室制に改編する。 （総務課、予防課、警防課、科学万博消防対策室）
	6 月	土浦市消防本部予防課長菅谷茂、消防本部次長兼消防署長に就任する。 豊里町上郷 607 番地に西部出張所庁舎を竣工、水槽付消防ポンプ自動車、連絡車各 1 台を配置し業務を開始する。（1 本部 1 署 2 分署 1 出張所） 筑南地方危険物安全協会から、連絡車 1 台の寄贈を受ける。
	7 月	西部出張所に油脂庫竣工
	8 月	消防本部訓練塔竣工
	9 月	西部出張所に救急自動車を配置し、業務を開始する。
昭和 58 年	1 月	茎崎町小茎 288 番地（前、南部分署仮庁舎）に、南部分署茎崎分遣所を設置、水槽付消防ポンプ自動車を配置し業務を開始する。

		(1本部1署2分署1出張所1分遣所)
	2月	救助工作車を購入、本署に配置する。
	4月	消防吏員7人採用(職員数146人)
	6月	消防吏員1人採用(職員数146人)
	7月	西部出張所に出動表示灯を設置する。
	8月	消防吏員1人採用(職員数146人)
	10月	消防本部の通信指令室を一部改築する。 消防吏員1人採用(職員数146人)
昭和59年	4月	北部分署に油脂庫竣工 消防吏員10人採用、および科学万博消防対策室へ土浦市消防本部から1人派遣される。(職員数155人)
	6月	消防本部次長兼消防署長菅谷茂離任する。 消防本部総務課長兼消防署長に、中村輝夫就任する。
	10月	科学万博会場内に科学万博消防署を開設し、慶野清消防署長以下23人、12車両で業務を開始する。(1本部2署2分署1出張所1分遣所) 消防本部3課1室制を3課制に改編する。(総務課、予防課、警防課) 科学万博消防署開設に伴い、関係町村から職員12人、および隣接消防本部から2人派遣される。(職員数165人)
昭和60年	1月	科学万博消防署へ隣接消防本部から10人派遣される。(職員数179人)
	3月	科学万博消防署へ隣接消防本部から26人派遣される。(職員数205人)
	4月	消防吏員2人採用(職員数207人)
	6月	指揮車を購入し消防本部に配置する。また、連絡車1台を更新する。
	9月	科学万博消防署を閉署(派遣職員41人離任)
	10月	(1本部1署2分署1出張所1分遣所) 消防本部次長に、科学万博消防署長慶野清就任する。 (財)国際科学技術博覧会協会から、屈折はしご付消防ポンプ自動車、化学消防車、水槽付消防ポンプ自動車各1台と、救急自動車2台の寄贈を受ける。 消防本部・消防署の車庫を増築する。 筑波郡筑波町沼田3000番地の旧沼田中学校を仮庁舎とし、北部分署筑波分遣所を設置、水槽付消防ポンプ自動車1台を配置し業務を開始する。
昭和61年	3月	科学万博業務記念誌を発行する。
	4月	消防吏員1人採用(職員数156人)
	10月	広報車を購入、消防本部に配置する。
	11月	行政バスを購入、消防本部に配置する。
昭和62年	1月	北部分署に整備ビットを設置する。 消防吏員1人採用(職員数156人)
	2月	はしご付消防ポンプ自動車をオーバーホールする。 通信指令装置関係を全面改修する。
	3月	消防吏員1人採用(職員数156人) 消防本部庁舎の外壁を全面塗装する。 筑波町沼田字西川面645番地に、筑波分遣所庁舎を竣工、移転する。 茎崎町小茎字上平563番地に、茎崎分遣所庁舎を竣工、移転する。
昭和62年	11月	大穂町、豊里町、桜村、谷田部町が合併し、つくば市となる。

		つくば市に筑波町が編入合併する。
		消防長稲葉勝行離任する。
昭和 63 年	1 月	消防本部次長慶野清、消防長職務代理者となる。
	2 月	荃崎町長石川玄蔵、消防長に就任する。
	3 月	本署配置の消防ポンプ自動車と救急自動車を更新する。
	4 月	消防吏員 20 人採用（職員数 176 人）
	10 月	筑波分遣所、荃崎分遣所に救急自動車、連絡車各 1 台を配置し、救急業務を開始する。
		消防本部警防課 3 係制を 5 係制に改編する。（消防防災係、救急係、救助係、通信指令係、訓練指導係）
平成元年	3 月	本署配置の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。
		各分遣所の救急自動車を更新する。
	4 月	消防吏員 20 人採用（職員数 194 人）
	5 月	消防長石川玄蔵消防正監に、次長慶野清消防監にそれぞれ昇任する。
	10 月	消防署の組織改革により、消防本部・消防署を中央消防署に、北部分署、南部分署をそれぞれ北消防署、南消防署に改める。また、出張所、各分遣所を分署に改める。（1 本部 3 署 3 分署）
		消防本部 3 課制を 4 課制に改編する。（総務課、予防課、警防課、訓練課）
		つくば市金田 2040 番地の 2 に中央消防署桜分署庁舎を竣工、救急自動車を配置し業務を開始する。（1 本部 3 署 4 分署）
平成 2 年	3 月	水槽付消防ポンプ自動車を購入、桜分署に配置する。
		日本損害協会から、救急自動車 1 台の寄贈を受ける。
		水槽付消防ポンプ自動車（8,000 ℓ）を購入し、中央消防署に配置する。
	4 月	消防吏員 16 人採用（職員数 210 人）
		消防職員 3 人採用（職員数 213 人）
	10 月	緊急通報システムを導入する。
平成 3 年	2 月	北消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。
	3 月	西分署配置の救急自動車を更新する。
		消防本部庁舎を増築する。
	4 月	消防吏員 22 人採用（職員数 228 人）
	5 月	連絡車を購入、消防本部に配置する。
	8 月	連絡車（ワゴン車）を購入、消防本部に配置する。
	9 月	筑波分署配置の可搬ポンプ積載車を更新する。
	11 月	筑南地方危険物安全協会から、連絡車 1 台の寄贈を受ける。
	12 月	救急自動車に心電図伝送装置及び自動車電話を装備する。
平成 4 年	2 月	南消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。
		荃崎分署庁舎、筑波分署庁舎を増築する。
	3 月	北消防署、南消防署の庁舎を一部改修する。
	4 月	消防吏員 27 人採用（職員数 253 人）
平成 4 年	7 月	日本消防協会から、救急自動車 1 台の寄贈を受ける。
	10 月	救急救命士 1 人が誕生する。
	11 月	消防長石川玄蔵離任する。
	12 月	つくば市長木村操消防長に就任する。

平成 5 年	3 月	消防ポンプ自動車兼救助工作車 2 台を購入し、北消防署、南消防署へ配置 筑波分署、荃崎分署にホース懸垂装置を設置する。 中央消防署の排水設備を改修する。
	4 月	消防本部 4 課制を 4 課 1 室制に改編する。 (総務課、職員課、予防広報課、警防課、通信指令室) 消防吏員 22 人、消防職員 5 人採用 (職員数 273 人)
	6 月	中央消防署冷暖房設備改修する。
	10 月	訓練塔車庫増築
平成 6 年	2 月	山之内製薬株式会社から、高規格救急自動車 1 台の寄贈を受ける。 中央消防署配置のはしご付消防ポンプ自動車 (32M 級) を四輪操舵傾斜矯正 装置付の 40M 級はしご付消防ポンプ自動車に更新する。
	4 月	消防吏員 12 人採用 (職員数 284 人)
	6 月	中央消防署、北消防署、南消防署に空調設備を設置する。
	10 月	救急救命士 2 人となる。
平成 7 年	4 月	消防吏員 5 人採用 (職員数 286 人) 消防本部 4 課 1 室制を 4 課 2 室制に改編する。 (総務課、職員課、予防広報課、警防課、通信指令室、特殊災害対策室)
	8 月	中央消防署配置の指令車を更新する。
	10 月	救急救命士 3 人となる。 消防本部・署の交替制勤務者三部制となる。
	12 月	中央消防署に化学防護服を配備する。
平成 8 年	1 月	西分署配置の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。
	2 月	南消防署配置の救急自動車を更新する。
	3 月	新消防緊急通信指令施設 (発信地表示システム、車両運用監視装置等の導入) の運用開始
	4 月	消防吏員 4 人採用 (職員数 290 人)
平成 9 年	5 月	消防長木村操離任する。 消防本部長慶野清消防長職務代理者となる。
	7 月	西分署の連絡車を更新する。
	9 月	中央署屈折はしご付消防ポンプ自動車をオーバーホールする。
	12 月	つくば市長藤澤順一消防長事務取扱に就任する。
平成 10 年	2 月	荃崎分署の水槽付消防ポンプ自動車及び救急自動車を更新する。 消防本部に連絡車を購入、配置する。 震災対策事業として、中央署に救護所用エアーテント一式を配置する。
	4 月	救急救命士 4 人となる。
	7 月	筑波分署、荃崎分署配置の連絡車を更新する。
	12 月	通信指令室緊急通報システム受信センター装置を更新する。
平成 10 年	2 月	中央消防署配置の救助工作車を更新する。 筑波分署配置の救急自動車を更新し、南消防署に高規格救急自動車を配置す る。
	3 月	中央消防署旧訓練塔を解体し場内を整備改修する。 救急救命士 5 人となる。 消防長藤澤順一離任する。

	4 月	消防本部次長慶野清消防正監に昇任し、消防長に就任する。 フィリピンに救急自動車を寄贈する。
	11 月	救急救命士 6 人となる。
平成 11 年	1 月	桜分署配置の救急自動車を変更し、北消防署に高規格救急自動車を配置する。
	3 月	筑波分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。
	4 月	北消防署、南消防署の連絡車を更新する。
	10 月	1 1 9 番 F A X の運用を開始する。
	11 月	救急救命士 7 人となる。
平成 12 年	1 月	西分署の救急自動車を更新する。
	2 月	消防本部の指揮車、中央消防署の資材搬送車を更新する。
	5 月	中央消防署の連絡車を更新する。
	9 月	桜分署の救急自動車を更新する。 キューバ共和国に救急自動車を寄贈する。
	11 月	救急救命士 8 人となる。
平成 13 年	2 月	中央消防署、北消防署及び南消防署に化学災害・放射線災害用資器材を配置する。
	3 月	救急救命士 9 人となる。
	5 月	消防本部及び全署所にインターネットを接続する。
	6 月	ホームページを開設する。 消防本部配置の連絡車（軽）2 台を 1 台の普通自動車ワゴンタイプに更新する。
		中央消防署事務室及び食堂の空調設備改修、増設工事を行う。
	7 月	通信指令室に危険性物質検索システムを導入する。
	8 月	北消防署に防火水槽型放水試験場を設置する。
	9 月	救急救命士 10 人となる。
平成 14 年	3 月	総務省消防庁から生物・化学テロ対応資機材を貸与される。 中央消防署配置の化学車を特殊災害対応化学車（Ⅲ型）に更新する。
	10 月	筑南地方広域行政事務組合解散する。
	11 月	つくば市に茎崎町が編入合併する。合併に伴い「つくば市消防本部」に名称を変更し、消防本部 4 課 2 室制を 4 課 1 室制（消防総務課、予防広報課、警防課、通信指令室、地域消防課）に改め、西分署を豊里分署に改める。
		救急救命士 11 人となる。
平成 15 年	2 月	中央消防署配置の高規格救急車を更新する。
	3 月	消防長慶野清退任する。
	4 月	消防本部次長大沼勝美消防正監に昇任し、消防長に就任する。 （職員数 286 人）
	10 月	災害通知メール配信サービスを開始する。
平成 15 年	12 月	救急救命士 12 人となる。
平成 16 年	3 月	都道府県指揮隊、救助隊、救急隊、消火隊、はしご隊及び毒物対応隊の 6 隊を緊急消防援助隊として登録する。 中央消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車を災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車に更新する。
	4 月	消防吏員 3 人採用（職員数 288 人）

		非常時災害情報収集 Web カメラシステムの運用を開始する。
		救急救命士 15 人となる。
平成 17 年	10 月	南消防署に高圧噴霧放水銃インパルス消火システムを配備する。 つくば市消防本部 30 周年記念式典を開催する 30 周年記念誌「消防本部のあゆみ」を刊行する。
	12 月	救急救命士 16 人となる。
	2 月	中央消防署配置の普通消防ポンプ自動車を災害対応特殊消防ポンプ自動車に更新する。
	3 月	中央消防署桜分署の水槽付消防ポンプ自動車を災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車に更新する。
	4 月	消防吏員 2 人採用（職員数 290 人）
	5 月	救急救命士 17 人となる。
	10 月	北消防署・南消防署配置の指令車を更新する。（2 台）
	12 月	救急救命士 18 人となる。
平成 18 年	3 月	中央消防署桜分署の救急車を高規格救急車に更新する。 高機能消防指令センター装置を更新する。
	4 月	消防本部 4 課 1 室制を 5 課制（消防総務課、予防広報課、警防課、消防指令課、地域消防課）に改編する。 消防吏員 13 人採用（職員数 303 人） 救急救命士 19 人となる。
	12 月	北消防署筑波分署の救急車を高規格救急車に更新する。 中央消防署配置の屈折はしご付消防ポンプ自動車を 15M 級災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車に更新する。
平成 19 年	4 月	消防吏員 15 人採用（職員数 314 人） 救急救命士 27 人となる。
	10 月	携帯電話・IP 電話発信地位置情報通知システム装置を導入する。
	11 月	北消防署筑波分署の可搬ポンプ積載車を更新する。
平成 20 年	3 月	南消防署荃崎分署の救急車を高規格救急車に更新する。 消防長大沼勝美退任する。
	4 月	消防本部次長口本信一消防正監に昇任し、消防長に就任する。 消防吏員 3 人採用（職員数 313 人） 救急救命士 29 人となる。 並木一丁目 2 番地 3 に中央消防署並木分署を竣工、水槽付消防ポンプ自動車、高規格救急車、連絡車各 1 台を配置し業務を開始する。 （1 本部 3 署 5 分署）
	11 月	南消防署配置の高規格救急車を更新する。
平成 21 年	3 月	消防長口本信一退任する。
	4 月	市長事務部局細田元久消防長に就任する。 消防吏員 5 人採用（職員数 314 人） 救急救命士 31 人となる。
	12 月	北消防署配置の普通消防ポンプ自動車を災害対応特殊消防ポンプ自動車に更新する。
平成 22 年	3 月	中央消防署豊里分署の救急車を高規格救急車に更新する。

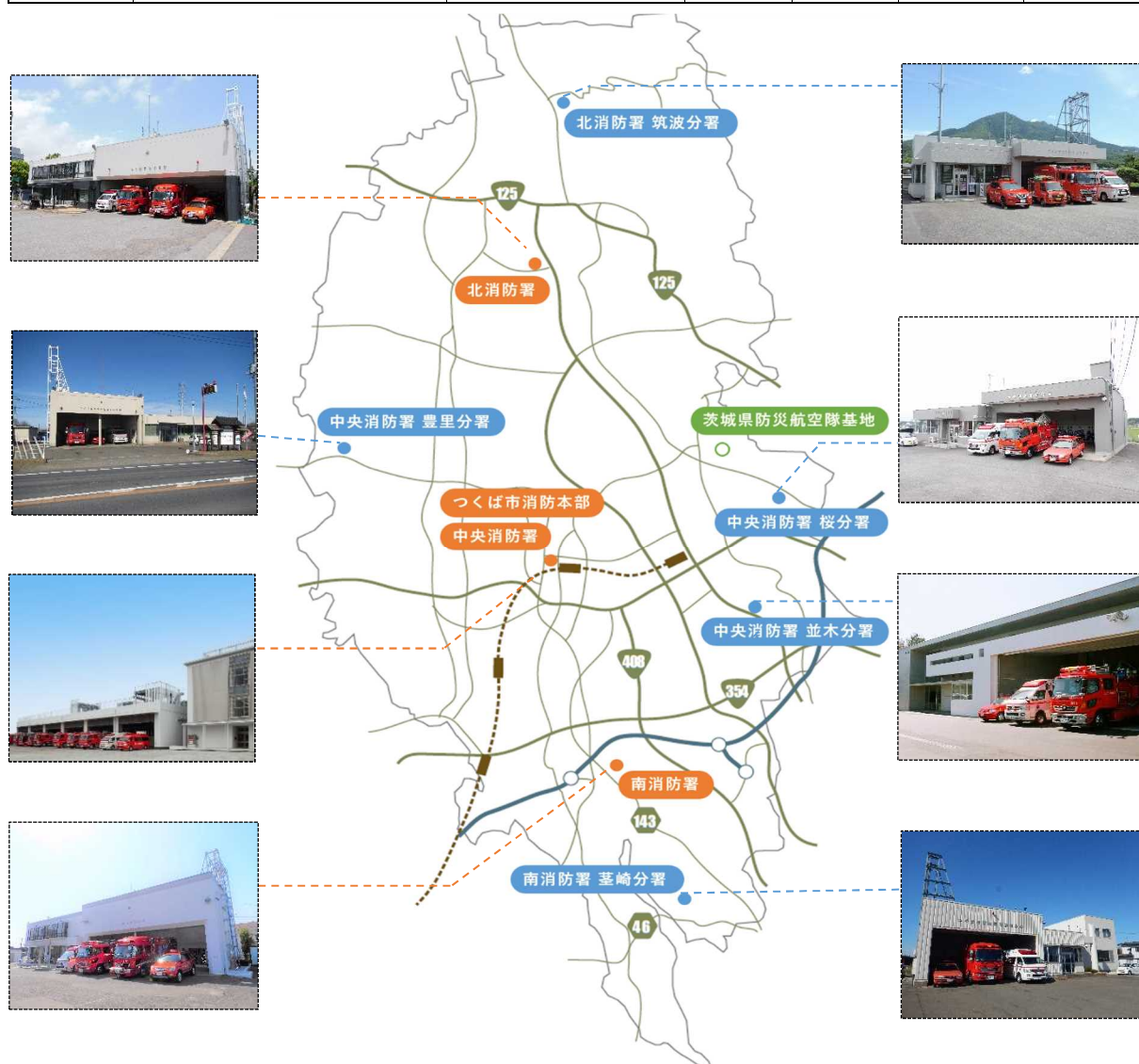
	4 月	消防長細田元久退任する。 市長事務部局川村晴一消防長に就任する。 消防吏員 6 人採用（職員数 315 人）
平成 23 年	2 月	南消防署配置の普通消防ポンプ自動車を災害対応特殊消防ポンプ自動車に更新する。
	3 月	総務省消防庁から緊急消防援助隊支援車が無償使用として配備される。 中央消防署の指揮車を更新する。
	4 月	消防長川村晴一退任する。 消防本部次長糸賀善巳消防正監に昇任し、消防長に就任する。 救急救命士 34 人となる。
平成 24 年	12 月	財団法人救急振興財団から、救急普及啓発広報車の寄贈を受ける。
	2 月	中央消防署配置の大型水槽車を更新する。
	3 月	消防長糸賀善巳退任する。 北消防署配置の高規格救急車を更新する。
	4 月	消防本部次長北嶋清消防正監に昇任し、消防長に就任する。 消防吏員 3 人採用（職員数 313 人） 救急救命士 35 人となる。
平成 25 年	3 月	中央消防署配置の高規格救急車を更新する。 総務省消防庁から緊急消防援助隊用の重機搬送車及び 3 t 重機を無償使用として配備される。
	4 月	消防長北嶋清退任する。 中央消防署署長櫻井正昭消防正監に昇任し、消防長に就任する。 消防吏員 6 人採用（職員数 315 人） 救急救命士 40 人となる。 総務省消防庁から緊急消防援助隊用の可搬衛星地球局一式を無償使用として配備される。
平成 26 年	6 月	南消防署の救助工作車を更新する。
	3 月	消防長櫻井正昭退任する。
	4 月	消防本部次長中澤満夫消防正監に昇任し、消防長に就任する。 消防吏員 3 人採用（職員数 314 人） 救急救命士 44 人となる。
平成 27 年	2 月	つくば市研究学園一丁目 1 番地 1 に消防本部・中央消防署庁舎竣工する。
	3 月	消防本部・中央消防署、新庁舎に移転し業務を開始する。 高機能消防指令センター装置を更新する。 北消防署の救助工作車を更新する。
	4 月	消防吏員 9 人採用（職員数 315 人） 救急救命士 48 人となる。
平成 28 年	2 月	中央消防署桜分署配置の高規格救急車を更新する。
	3 月	消防長中澤満夫退任する。
	4 月	消防本部次長大山裕幸消防正監に昇任し、消防長に就任する。 消防吏員 10 人採用（職員数 315 人） 救急救命士 51 人となる。
	10 月	消防吏員 2 人採用（職員数 315 人）

平成 29 年	11 月	中央消防署豊里分署配置の普通消防ポンプ自動車を更新する。
	2 月	北消防署筑波分署配置の高規格救急車を更新する。
	3 月	つくば市職員定数条例が一部改正され、消防職員の定数が 350 名となる。
	4 月	消防吏員 6 人採用（職員数 315 人） 救急救命士 55 人となる。
平成 30 年	10 月	消防吏員 12 人採用（職員数 327 人）
	12 月	南消防署荃崎分署配置の普通消防ポンプ自動車を更新する。
	2 月	中央消防署の救助工作車を更新する。 高度救助用資機材を購入する。
	3 月	消防長大山裕幸退任する。
	4 月	消防本部次長植木利男消防正監に昇任し、消防長に就任する。 消防吏員 17 人採用（職員数 333 人） 救急救命士 63 人となる。
	10 月	消防吏員 11 人採用（職員数 342 人）
平成 31 年	2 月	中央消防署配置の 40M 級はしご付消防ポンプ自動車を更新する。
	3 月	中央消防署並木分署配置の高規格救急車を更新する。
	4 月	消防吏員 13 人採用（職員数 330 人） 救急救命士 72 人となる。 特別高度救助隊を発足する。 特殊災害対応隊を発足する。 山岳救助対応隊を発足する。
	10 月	消防吏員 4 人採用（職員数 331 人）
令和元年	3 月	高機能消防指令センター装置を部分更新する。
令和 2 年	3 月	南消防署配置の高規格救急車を更新する。
	4 月	消防本部 5 課制を 6 課制（消防総務課、予防広報課、消防救助課、救急課、消防指令課、地域消防課）に改編する。
	4 月	消防吏員 7 人採用（職員数 332 人）
	4 月	救急救命士 78 人となる。
令和 3 年	4 月	北消防署筑波分署配置の普通消防ポンプ自動車を更新する。 消防職員向け一斉配信メールを開始する。
	10 月	消防吏員 4 人採用（職員数 335 人）
	10 月	救急救命士 80 人となる。
	3 月	中央消防署配置の災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を災害対応特殊化学消防ポンプ自動車に更新する。
	3 月	消防本部の指揮車を更新する。
	3 月	中央消防署に高規格救急車を新規配置する。
	4 月	消防吏員 11 人採用（職員 334 人）
	4 月	救急救命士 82 人となる。
	4 月	中央消防署に日勤救急隊を創設し運用を開始する。
	10 月	消防吏員 5 人採用（職員 337 人）
	10 月	救急救命士 83 人となる。
	12 月	南消防署荃崎分署配置の高規格救急車を更新する。
令和 4 年	2 月	北消防署筑波分署配置の指令車を更新する。

	2月	中央消防署配置の搬送車を更新する。
	3月	中央消防署豊里分署配置の高規格救急車を更新する。
	3月	消防長植木利男退任する。
	4月	消防本部次長木村勝平消防正監に昇任し、消防長に就任する。
	4月	消防吏員 16 人採用（職員 339 人）
	4月	救急救命士 93 人となる。
	10月	消防吏員 5 人採用（職員 342 人）
	10月	救急救命士 94 人となる。
令和 5 年	3月	中央消防署桜分署配置の指令車を更新する。
	3月	南消防署荃崎分署配置の指令車を更新する。
	3月	北消防署配置の高規格救急車を更新する。
	3月	つくば市職員定数条例が一部改正され、消防職員の定数が 365 名となる。
	3月	消防長木村勝平退任する。
	4月	消防本部次長青木孝徳消防正監に昇任し、消防長に就任する。
	4月	消防吏員 12 人採用（職員 340 人）
	4月	救急救命士 95 人となる。
	10月	消防吏員 4 人採用（342 人）
令和 6 年	3月	中央消防署桜分署配置の普通消防ポンプ自動車を更新する。
	4月	組織改正に伴い予防広報課を予防課に改める。
	4月	消防吏員 11 人採用（348 人）
	4月	救急救命士 100 人となる。

4 消防機関の名称・配置

名 称	位 置	建 物 構 造	面 積 (㎡)			竣工年月
			建築面積	延べ面積	敷地面積	
消 防 本 部	つくば市研究学園一丁目1番地1	庁舎・車庫棟	2,519.30	4,558.81	13,313.99	平成27年 2月
中央消防署		鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 3階建 訓練塔 鉄骨造5階建				
〃						
豊 里 分 署	つくば市上郷 606 番地	鉄筋コンクリート造 平屋建	404.25	393.65	3,406.26	昭和57年 6月
桜 分 署	つくば市金田 2040 番地2	鉄筋コンクリート造 平屋建	384.20	370.90	1,700.27	平成元年 10月
並 木 分 署	つくば市並木一丁目2番地3	鉄筋コンクリート造 2階建	518.40	745.52	3,000.00	平成20年 4月
北 消 防 署	つくば市上沢 3 番地	鉄筋コンクリート造 2階建	522.45	710.32	4,989.73	昭和52年 7月
〃	つくば市沼田 644 番地	鉄筋コンクリート造 平屋建一部鉄骨2階建	335.92	384.22	1,481.94	昭和62年 3月
筑波分署						
南 消 防 署	つくば市観音台一丁目25番地3	鉄筋コンクリート造 2階建	518.87	739.53	3,500.00	昭和56年 4月
〃	つくば市小基 563 番地1	鉄筋コンクリート造 平屋建一部鉄骨2階建	344.18	391.59	1,377.00	昭和62年 3月
基崎分署						



5 応援協定・業務協定

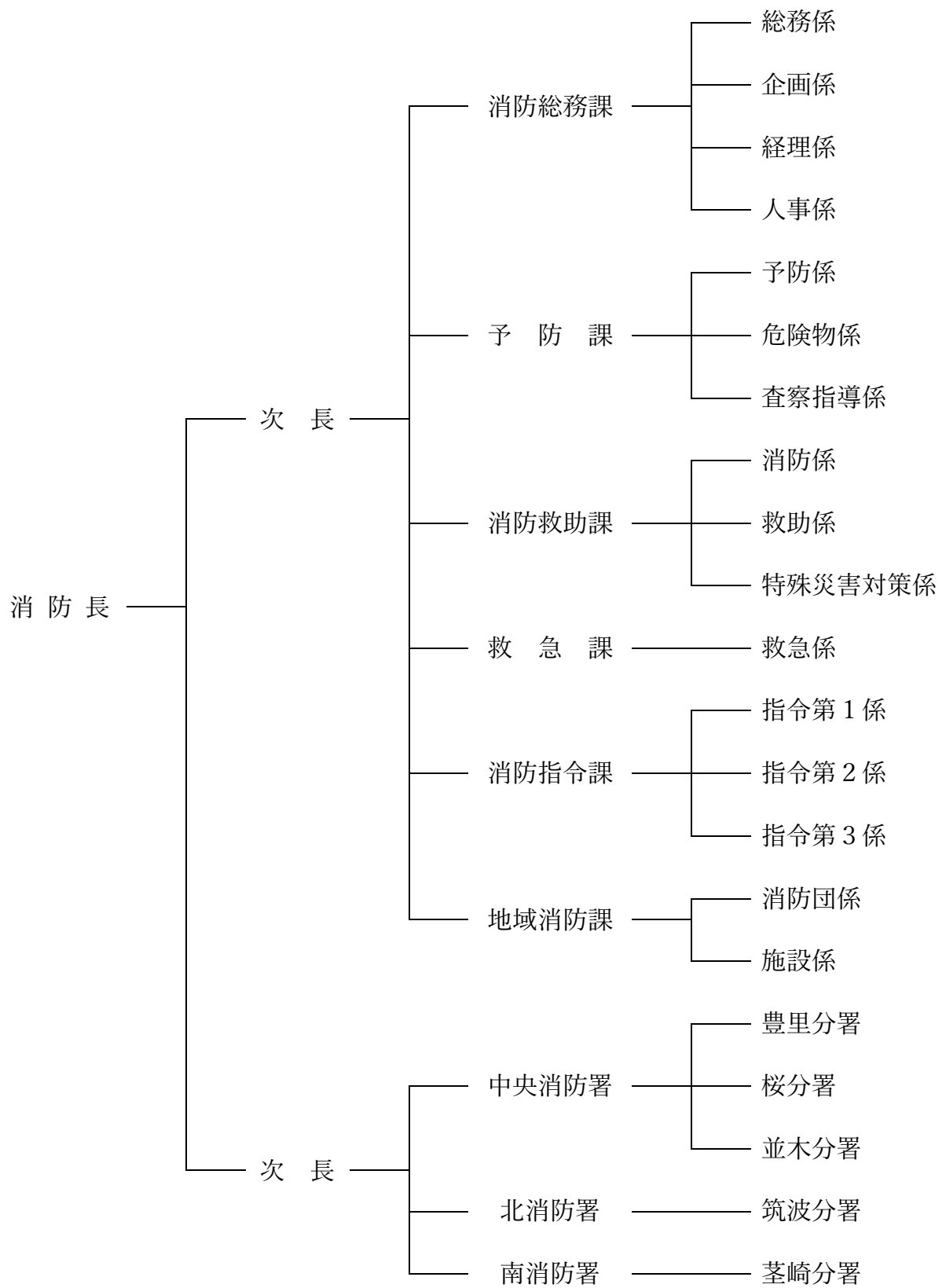
消防相互応援協定等の締結状況 (2024 年 4 月 1 日現在)

協定等の名称・協定先	対 象 災 害	応援体制（計画）	締結・最終改正年月日
・消防相互応援協定 ・近隣市町村	火災・救急（一部水害、警戒等含む）	普通応援 特別応援	昭和 52 年 平成 27 年 7 月 23 日 （改正）
・茨城県高速自動車道等における消防相互応援協定書 ・沿線市町村	火災・救急事故及びその他の災害	別に定める協定出場区域表に基づき行う。	昭和 59 年 3 月 20 日 令和元年 10 月 1 日 （改正）
・茨城県広域消防相互応援協定 ・茨城県下の全市町村	応援活動を必要とする全災害	別に定める応援隊編成表に基づき行う。	平成元年 4 月 1 日 平成 29 年 3 月 6 日 （改正）
・大規模災害消防応援実施計画 ・全国消防長会 （全国の消防機関）	地震、台風、火山噴火等による大規模災害（当該地域の通常の消防体制では対応困難な場合）	応援出動計画（茨城県消防長会）に基づき行う。	平成 7 年 10 月 19 日 令和 4 年 4 月 19 日 （改正）
・緊急消防援助隊 ・総務省消防庁 （全国の消防機関）	国内における地震等の大規模災害（当該地域の通常の消防体制では対応困難な場合）	大規模災害消防応援実施計画に伴う応援出動計画（茨城県消防長会）に準ずる。	平成 7 年 10 月 30 日 令和 4 年 4 月 19 日 （改正）
・大規模特殊災害時における広域航空消防応援隊 ・総務省消防庁 （防災ヘリコプター保有市町村及び都道府県）	防災ヘリコプターを使用することが消防活動に極めて有効であると考えられる災害	大規模特殊災害時における広域航空消防応援実施要綱の別表に基づき行う。	平成 4 年 3 月 23 日 令和 3 年 7 月 1 日 （改正）

業務提携の締結状況

協 定 先	協 定 内 容	締 結 年 月 日
東京ガス株式会社常総支社・つくば支社	申し合わせ （一部変更）	昭和 56 年 9 月 1 日 （平成 28 年 11 月 1 日）
茨城県（つくばヘリポート）	業 務 協 定	平成 3 年 3 月 29 日
陸上自衛隊 霞ヶ浦駐屯地	業 務 協 定 （一部改正）	昭和 56 年 9 月 20 日 （平成 8 年 1 月 20 日）
東日本旅客鉄道株式会社	業 務 協 定	平成 19 年 6 月 1 日
筑波観光鉄道株式会社	業 務 協 定	平成 19 年 8 月 23 日
首都圏新都市鉄道株式会社 常総地方広域市町村圏事務組合消防本部	業 務 協 定	平成 21 年 3 月 27 日
大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構	業 務 協 定	平成 22 年 1 月 15 日
国立研究開発法人産業技術総合研究所	業 務 協 定	平成 22 年 2 月 18 日
国立研究開発法人物質・材料研究機構	業 務 協 定	平成 23 年 2 月 16 日
公益財団法人筑波メディカルセンター病院 国立大学法人筑波大学附属病院.	業 務 協 定	平成 23 年 4 月 28 日
一般財団法人日本自動車研究所	業 務 協 定	平成 23 年 8 月 8 日
国立研究開発法人理化学研究所筑波研究所	業 務 協 定	平成 25 年 2 月 12 日
陸上自衛隊施設学校 東日本高速株式会社関東支社谷和原管理事務所	申し合わせ	平成 29 年 1 月 20 日

6 組織体制



7 消防本部の事務分掌

課 名	係 名	事 務 分 掌
消防総務課	総 務 係	(1) 公印の管守に関すること。 (2) 文書の収受、発送及び保存又は管理に関すること。 (3) 儀式及び各種会議並びに渉外に関すること。 (4) 消防協力者の表彰に関すること。 (5) 消防職員委員会に関すること。 (6) 消防長の権限に属する消防関係例規の制定及び改廃に関すること。 (7) 消防総務に係る広報、広聴及び報道に関すること。 (8) 他の課等の所管に属さないこと。
	企 画 係	(1) 消防事務に係る重要施策及び重要事業の企画、調整及び進行管理に関すること。 (2) 消防関係諸機関との連絡調整に関すること。 (3) 消防統計に関すること。 (4) 消防年報の編集発行に関すること。
	経 理 係	(1) 消防本部の予算及び決算の取りまとめに関すること。 (2) 諸手数料等の徴収に関すること。 (3) 消防施設の整備及び維持管理に関すること。 (4) 物品の管理に関すること。
	人 事 係	(1) 消防職員の人事、服務、給与及び福利厚生に関すること。 (2) 消防職員の教育訓練及び研修に関すること。 (3) 消防職員の表彰に関すること。 (4) ハラスメントの防止に関すること。
予 防 課	予 防 係	(1) 建築確認等の同意に関すること。 (2) 消防用設備の設置指導及び検査に関すること。 (3) 防火管理及び防火基準適合表示等に関すること。 (4) 防火管理者の講習、資格管理及び指導育成に関すること。 (5) 火災の原因及び損害の調査に関すること。 (6) 火災調査資料の収集及び分析に関すること。 (7) 火災予防対策及び各種防火運動に関すること。 (8) 幼少年消防クラブ及び女性防火クラブ等の指導育成に関すること。 (9) 防火委員会に関すること。 (10) 火災（り災）証明、その他予防証明に関すること。 (11) 火災統計、その他予防統計に関すること。 (12) 火災予防に係る広報、広聴及び報道に関すること。 (13) 消防音楽隊に関すること。 (14) 他の係の所管に属さないこと。

課 名	係 名	事 務 分 掌
予 防 課	危 険 物 係	(1) 危険物製造所等の許認可に関すること。 (2) 危険物製造所等の規制及び査察に関すること。 (3) 危険物取扱者の指導に関すること。 (4) 危険物災害の調査に関すること。 (5) 危険物統計に関すること。 (6) 危険物製造所等の証明に関すること。 (7) 危険物安全協会に関すること。 (8) 火薬類取締法(昭和 25 年法律第 149 号)に関すること。
	査察指導係	(1) 査察実施基本計画に関すること。 (2) 防火対象物に係る調査、企画及び調整に関すること。 (3) 防火対象物に係る査察、指導等に関すること。 (4) 防火対象物の違反処理に関すること。
消防救助課	消 防 係	(1) 警防業務の企画立案に関すること。 (2) 火災、風水害その他災害の対策に関すること。 (3) 消防相互応援及び警防計画に基づく関係機関との連絡調整に関すること。 (4) 非常招集に関すること。 (5) 消防隊の運用計画及び観察に関すること。 (6) 火災、風水害その他災害に係る広報、広聴及び報道に関すること。 (7) 消防車両及び消防機器等の配備、整備その他維持管理に関すること。 (8) 消防技術の調査、研究及び指導に関すること。 (9) 開発行為に関すること。 (10) 警防統計に関すること。 (11) 他の係の所管に属さないこと。
	救 助 係	(1) 救助の企画立案に関すること。 (2) 救助対策に関すること。 (3) 救助統計に関すること。 (4) 救助技術の調査、研究及び指導に関すること。 (5) 救助資機材の管理に関すること。 (6) 救助高度化事業に関すること。 (7) 救助車両及び救助機器等の配備、整備その他維持管理に関すること。
	特 殊 災 害 対 策 係	(1) 特殊災害及び化学災害に係る警防計画の策定及び消防対策に関すること。 (2) 特殊災害及び化学災害事象の調査及び分析に関すること。 (3) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和 42 年法律第 149 号)等に基づく意見書の交付に関すること。

課 名	係 名	事 務 分 掌
救 急 課	救 急 係	(1) 救急の企画立案に関すること。 (2) 救急対策に関すること。 (3) 救急統計に関すること。 (4) 救急技術の調査、研究及び指導に関すること。 (5) 救急医療機関との連絡調整に関すること。 (6) 救急証明に関すること。 (7) 救急資機材の管理に関すること。 (8) 患者等搬送業務担当職員の指導育成に関すること。 (9) 救急車両及び救急機器等の配備、整備その他維持管理に関すること。 (10) つくば・常総地区メディカルコントロール体制に関すること。 (11) 救急業務に係る広報、広聴及び報道に関すること。
消防指令課	指令第1係 指令第2係 指令第3係 (3係による24時間勤務交替制)	(1) 通信施設及び機器等の管理運用及び配備計画に関すること。 (2) 消防緊急情報システムの調整及び運営管理に関すること。 (3) 通信技術の研究及び指導に関すること。 (4) 防災関係機関及び医療機関等との連絡調整に関すること。 (5) 出場命令に関すること。 (6) 消防通信連絡及び通信統制に関すること。 (7) 気象情報及び災害情報の収集及び伝達に関すること。 (8) 火災警報及び消防信号に関すること。 (9) 消防指令業務に係る広報、広聴及び報道に関すること。 (10) その他消防指令業務に関すること。
地域消防課	消 防 団 係	(1) 消防団の組織及び運営に関すること。 (2) 消防団員の任免、表彰及び報酬等に関すること。 (3) 消防団員の公務災害補償、福利厚生及び健康管理に関すること。 (4) 消防団員の教育訓練に関すること。 (5) 消防団員の被服に関すること。 (6) 消防協会に関すること。 (7) つくば市森林火災防止協会に関すること。 (8) 水防に関すること。 (9) 自衛消防に関すること。 (10) 関係機関との連絡調整に関すること。 (11) 消防団に係る広報、広聴及び報道に関すること。 (12) 他の係の所管に属さないこと。
	施 設 係	(1) 防火水槽及び消火栓の設置及び管理等に関すること。 (2) 消防団無線の管理及び運用に関すること。 (3) 消防団車両及び施設等の整備及び管理に関すること。 (4) 消防団車両及び施設等の整備のための補助金申請に関すること。 (5) 消防団の各種契約及び検収等に関すること。

8 消防署の事務分掌

係 名	事 務 分 掌
総 務 係	(1) 公印の管守に関すること。 (2) 文書の収受、発送及び保管に関すること。 (3) 署員の人事、給与及び福利厚生等に関すること。 (4) 庁舎の維持管理及び備品の保管に関すること。 (5) 他の係の主管に属さないこと。
予 防 係	(1) 建築物等の確認同意に関すること。 (2) 火災原因及び損害の調査に関すること。 (3) 火災予防思想の普及に関すること。 (4) 予防査察に関すること。 (5) 防火管理に関すること。 (6) 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。 (7) 火災予防条例に定められた各種届出の処理に関すること。 (8) 高圧ガス等の火災予防指導に関すること。
消 防 救 助 係	(1) 火災その他の災害の警戒防御及び救助業務に関すること。 (2) 消防地理、水利、建物等の調査に関すること。 (3) 消防活動上支障となる届出に関すること。 (4) 消防用自動車、消防用資機材等の管理に関すること。 (5) 機関員の技術監理に関すること。 (6) 消防隊及び救助隊の訓練に関すること。 (7) 消防統計及び救助統計に関すること。
救 急 係	(1) 救急業務に関すること。 (2) 救急用自動車、救急用資機材等の管理に関すること。 (3) 応急手当の普及に関すること。 (4) 救急隊の訓練に関すること。 (5) 救急統計に関すること。

9 防火団体

(1) つくば市危険物安全協会

事務局 消防本部予防課 設 立 昭和 56 年 4 月 1 日
会 員 数 181 事業所 (2024 年 4 月 1 日現在)

- ◎ 危険物の製造、貯蔵又は取扱いの管理についての研究に関すること
- ◎ 関係法令の研究及び周知徹底に関すること
- ◎ 危険物に起因する災害予防に関する宣伝及び講習会、映画会等の開催
- ◎ 危険物取扱者のための講習会等の開催
- ◎ 関係図書の購入、頒布及び斡旋に関すること
- ◎ その他、本会の目的を達成するために必要と認める事項

(2) つくば市幼年・少年・女性防火・防災委員会

事務局 消防本部予防課 設 立 昭和 62 年 7 月 13 日
クラブ数 11 クラブ (2024 年 4 月 1 日現在)

- ◎ 消防クラブ等の育成指導及び設立拡充に関すること
- ◎ 家庭及び地域における防火・防災の普及、火災予防思想の高揚に関すること
- ◎ 消防クラブ等の運営助成に関すること
- ◎ 一般社団法人日本防火・防災協会及びその他の団体等に対する交付金及び物件等の交付申請に関すること
- ◎ 消防クラブ等及びクラブ員の表彰に関すること
- ◎ 消防クラブ等相互間の連絡、調整に関すること
- ◎ その他委員会の目的達成のために必要と認める事業に関すること

つくば市幼年・少年消防クラブ及び女性防火・防災クラブ設立状況

名 称	所 在 地	結成年月日	クラブ員数
並木保育所 幼年消防クラブ	つくば市並木四丁目 2-3	昭和 62 年 10 月 3 日	102 名
大穂幼稚園 幼年消防クラブ	つくば市篠崎 557-1	昭和 63 年 10 月 9 日	24 名
田中保育園 幼年消防クラブ	つくば市水守 554	昭和 63 年 11 月 16 日	115 名
上横場保育所 幼年消防クラブ	つくば市上横場 1228	平成 2 年 9 月 1 日	87 名
上郷保育所 幼年消防クラブ	つくば市上郷 2499	平成 2 年 10 月 1 日	56 名
今鹿島保育所 幼年消防クラブ	つくば市今鹿島 5087	平成 2 年 10 月 1 日	54 名
上郷幼稚園 幼年消防クラブ	つくば市上郷 2499	平成 15 年 11 月 11 日	12 名
わかば保育園 幼年消防クラブ	つくば市谷田部 2061	平成 16 年 11 月 25 日	91 名
みのり幼稚園 幼年消防クラブ	つくば市高崎 643-9	平成 16 年 11 月 25 日	194 名
かやまのこども園幼年消防クラブ	つくば市上萱丸 154-1	令和 4 年 10 月 6 日	102 名
茎崎幼稚園 幼年消防クラブ	つくば市小茎 798-1	令和 5 年 4 月 1 日	47 名

内 訳 幼年消防クラブ員 (11 クラブ) 合計 884 名

第2章 資料

第1節 総務編



1 令和6年度つくば市一般会計予算（歳出）

款	区分	金額（千円）	構成比
議	会 費	499,542	0.4%
総	務 費	8,015,220	7.2%
民	生 費	48,044,200	43.0%
衛	生 費	7,452,212	6.7%
労	働 費	83,383	0.0%
農	林水産業費	1,759,034	1.6%
商	工 費	1,539,167	1.4%
土	木 費	12,878,208	11.5%

款	区分	金額（千円）	構成比
消	防 費	5,192,132	4.6%
教	育 費	18,978,092	17.0%
災	害復旧費	1	0.0%
公	債 費	6,493,168	5.8%
諸	支 出 金	669,641	0.6%
予	備 費	200,000	0.2%
合	計	111,804,000	100.0%

消防費の内訳

目	区 分	金 額（千円）	構 成 比
常 備 消 防 費		4,158,259	80.0%
非 常 備 消 防 費		406,830	7.9%
消 防 施 設 費		624,282	12.0%
水 防 費		2,761	0.1%
合 計		5,192,132	100%

2 消防予算と人口・世帯の割合

（2024年4月1日現在）

消 防 予 算 （千円）	人 口 （人）	世 帯 数	市民1人あたりの 消防費（円）	1世帯あたりの 消防費（円）
5,192,132	注1 254,949	116,904	20,365	44,413

注1：住民基本台帳の数値を掲載

3 人口・世帯数の推移

(各年4月1日現在)

区分 \ 年別	H27	H28	H29	H30	H31
人 口	220,166	223,771	226,781	230,310	233,868
世 帯	92,786	94,903	97,017	99,131	101,706
面積 (km ²)	283.72	283.72	283.72	283.72	283.72
人 口 密 度	776.0	778.7	799.3	811.7	824.3

区分 \ 年別	R2	R3	R4	R5	R6
人 口	238,014	242,866	247,399	252,286	254,949
世 帯	104,782	108,194	111,071	114,736	116,904
面積 (km ²)	283.72	283.72	283.72	283.72	283.72
人 口 密 度	839.0	856.0	872.0	889.2	898.6

4 消防力の現勢

(2024年4月1日現在)

区 分		現 有 数
消 防 吏 員		335 人
署 所		8 署所
消 防 車 両 等	タ ン ク 車	10 (2) 台
	は し ご 車	2 台
	化 学 車	1 台
	高規格救急車	11 (2) 台
	救助工作車	3 台

() うち非常用車両

5 消防職員の配置

(2024年4月1日現在)

階級別 配置別		総 数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職
総数		348	1	5	30	93	48	42	64	52	13
消防本部	小計	75	1	4	13	21	14	9	5		8
	消防長	1	1								
	次長	2		2							
	企画監	※(1)			※(1)						
	消防総務課	13		1	2	4	2	2	1		1
	予防課	11			3	1	2	3	1		1
	消防救助課	16			4	6	4	2			
	救急課	4		1	1	1			1		
	消防指令課	21			3	8	6	2	2		
	地域消防課	7				1					6
中央消防署	小計	74		1	4	16	10	10	17	16	
	署長	1		1							
	副署長	1			1						
	日勤者	6				2	2		1	1	
	一班	22			1	5	2	4	4	6	
	二班	22			1	4	3	3	7	4	
	三班	22			1	5	3	3	5	5	
豊里中央消防署	小計	23			1	8	1	3	3	6	1
	分署長	1			1						
	日勤者	1									1
	一班	7				3		1	1	2	
	二班	7				2	1	1	1	2	
	三班	7				3		1	1	2	
桜中央消防署	小計	23			1	7	2	4	5	3	1
	分署長	1			1						
	日勤者	1									1
	一班	7				3		2	1	1	
	二班	7				2	1	1	2	1	
	三班	7				2	1	1	2	1	
並木中央消防署	小計	23			1	6	3	1	8	3	1
	分署長	1			1						
	日勤者	1									1
	一班	7				2	1		3	1	
	二班	7				2	1		3	1	
	三班	7				2	1	1	2	1	

※消防総務課職員兼務

階 級 別 配 置 別		総 数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職
北 消 防 署	小 計	42			4	11	6	5	7	9	
	署 長	1			1						
	日 勤 者	2					2				
	一 班	13			1	4	1	1	3	3	
	二 班	13			1	3	2	2	2	3	
	三 班	13			1	4	1	2	2	3	
筑 北 波 消 分 防 署 署	小 計	23			1	8	2	3	5	3	1
	分 署 長	1			1						
	日 勤 者	1									1
	一 班	7				3	1	1	1	1	
	二 班	7				3		1	2	1	
	三 班	7				2	1	1	2	1	
南 消 防 署	小 計	42			4	10	7	4	8	9	
	署 長	1			1						
	日 勤 者	2				1	1				
	一 班	13			1	3	2	1	3	3	
	二 班	13			1	3	2	1	3	3	
	三 班	13			1	3	2	2	2	3	
茎 南 崎 消 分 防 署 署	小 計	23			1	6	3	3	6	3	1
	分 署 長	1			1						
	日 勤 者	1									1
	一 班	7				2	1	1	2	1	
	二 班	7				2	1	1	2	1	
	三 班	7				2	1	1	2	1	



6 消防吏員の年齢表

(2024 年 4 月 1 日現在)

区分 年齢別	総 数	消 防 吏 員								
		消 正	防 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
総数	335	1		5	30	93	48	42	64	52
18 歳	1									1
19 歳	1									1
20 歳	5									5
21 歳	4									4
22 歳	8									8
23 歳	10									10
24 歳	20								8	12
25 歳	17								12	5
26 歳	10								8	2
27 歳	17							2	12	3
28 歳	16							3	12	1
29 歳	8							4	4	
30 歳	11							8	3	
31 歳	7							7		
32 歳	9							6	3	
33 歳	3							2	1	
34 歳	4						1	3		
35 歳	3						2	1		
36 歳	3						2		1	
37 歳	7						3	4		
38 歳	5						4	1		
39 歳	6					1	5			
40 歳	9						9			
41 歳	4					3	1			
42 歳	7					2	5			
43 歳	3					1	2			
44 歳	1					1				
45 歳	1						1			
46 歳	1					1				
47 歳	3					3				
48 歳	6					6				
49 歳	15					12	3			
50 歳	20					16	3	1		
51 歳	16					15	1			
52 歳	13				3	10				
53 歳	5				1	4				
54 歳	13			1	6	6				
55 歳	11				5	6				
56 歳	7				3	4				
57 歳	6			2	2	2				
58 歳	8	1		1	6					
59 歳	5			1	4					
60 歳以上	6						6			

※平均年齢 38.9 歳（最高齢 60 歳、最低齢 18 歳）

7 消防吏員の勤務年数

(2024 年 4 月 1 日現在)

区分 勤務年数別	総 数	消 防 吏 員							
		消 正 防 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司令	消 防 司令補	消 士 防 長	消 防 副士長	消防士
総 数	335	1	5	30	93	48	42	64	52
1 年未満	15								15
1 年以上 5 年未満	60						2	21	37
5 年以上 10 年未満	69						27	42	
10 年以上 15 年未満	19					6	12	1	
15 年以上 20 年未満	35				7	28			
20 年以上 25 年未満	3				2	1			
25 年以上 30 年未満	7				7				
30 年以上 35 年未満	89		1	9	71	7	1		
35 年以上	38	1	4	21	6	6			

8 消防職員の変遷（過去 10 年間）

(各年 4 月 1 日現在)

年 別 区 分		H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
条 例 定 数		315	315	350	350	350	350	350	350	365	365
実 員	消 防 吏 員	306	306	305	323	320	320	321	323	325	335
	そ の 他 の 職 員	9	9	10	10	10	12	13	16	15	13

9 消防職員の教養

(令和5年度)

区分／科・課程			内 容	日数	回数	人員
消 防 大 学 校	実 務 講 習	緊急消防援助隊教育科 高度救助・特別高度救助コース	高度救助隊、特別高度救助隊の隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。	16	1	1
		女性活躍推進コース	女性消防吏員の幹部候補生に対し、キャリア形成を支援し、職域拡大等を目的とした知識及び能力を修得させる。	9	1	1
茨 城 県 立 消 防 学 校	初 任 教 育	初 任 科	新たに採用された消防職員に対して職務の遂行に必要な基礎知識と技能を習得させる。	102	2	14
	専 科 教 育	警 防 科	大規模化、複雑多様化する災害に対応できる専門的知識及び技術を習得させる。	14	1	3
		予 防 査 察 科	予防業務に関する知識及び技術を修得させるとともに、査察員としての資質を向上させる。	9	1	3
		火 災 調 査 科	火災調査業務の原因調査・損害調査及び鑑識能力を専門的に習得させる。	10	1	3
		救 急 科	救急隊員になるための専門的な知識及び技術を修得させる。	36	2	7
		救 助 科	災害現場における救助活動に必要な専門知識及び技術を習得させる。	25	1	3
		特 殊 災 害 科	特殊かつ異様な災害への対応を含め、災害の態様に応じた的確な消防活動要領を理解及び習得させる。	7	1	3

区分／科・課程		内 容	日数	回数	人員
総合研究所 放射線医学	N I R S 放 射 線 事 故 初 動 セ ミ ナ ー	放射線による被ばく若しくは放射性物質による汚染事象が起きた際の現場での対応、被災者の搬送などについて必要な知識と技能を修得し、各機関での中心的な役割を担える人材を養成する。	4	1	1
筑波大学	消防職員惨事ストレス 初 級 研 修	消防職員の惨事ストレスに関する知識の学習とグループミーティングの基礎的な実習を通して、消防職員の惨事ストレス対策を推進する要員を養成する。	2	1	2
警察庁	N B C 災害担当消防職員等に対する教養研修	特殊災害に関する最新の専門知識と技術の習得を行い専門的な職員の養成を図る。	1	1	1

10 職員表彰

(令和5年度)

表 彰 区 分		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
消防庁長官	永年勤続功労章	1	2						
日本消防協会	功 績 章		2						
	精 績 章								
	勤 続 章				16	3			
	自治体消防制度75周年記念 特 別 表 彰				2				
全国消防長会	消防特別功労表彰								
	永年勤続功労者表彰				8	4			
茨城県知事	永年勤続功労章（勤続40年以上）		1	2	1				
	永年勤続功労章（勤続30年以上）				16	3			
	救急医療功労者表彰			1					
消防長	永年勤続功労章（勤続10年以上）						5	1	
茨城県消防協会	優良消防職員表彰			2					
	永年勤続消防職員妻女表彰				13	2			

11 公務災害

(1) 令和5年度中の公務災害認定請求件数

請求別	原因・治療別	計	発生原因別							計	主治療別						
			消火活動	救助活動	救急活動	訓練	作業	通勤	その他		骨折	捻挫	打撲	挫創	切創	火傷傷	その他
請求		2				1			1	2	2						
認定		2				1			1	2	2						

(2) 過去5年間の公務災害認定件数

請求別	原因・治療別	計	発生原因別							計	主治療別						
			消火活動	救助活動	救急活動	訓練	作業	通勤	その他		骨折	捻挫	打撲	挫創	切創	火傷傷	その他
令和元年度		0								0							
令和2年度		1							1	1	1						
令和3年度		2	1			1				2				1			1
令和4年度		0								0							
令和5年度		2				1			1	2	2						

第2節 予防編



1 消防法第7条に基づく消防同意取扱い件数（申請別）

（令和5年度）

申 請 要 旨	同 意	
	令和5年度	令和4年度
計	355	363
新 築	323	324
増 築	21	28
改 築	7	3
移 設	1	
修 繕		1
模 様 替		
用 途 変 更	2	4
そ の 他	1	3

2 消防法 7 条に基づく消防同意取扱い件数（用途別）

（令和 5 年度）

防火対象物の用途区分			同 意	
			令和 5 年度	令和 4 年度
計			355	363
1 項	イ	劇場等		
	ロ	公会堂等	6	2
2 項	イ	キャバレー等		
	ロ	遊技場等		
	ハ	性風俗特殊営業店舗等		
	ニ	カラオケボックス等		
3 項	イ	料理店等		
	ロ	飲食店	10	7
4 項		百貨店等	16	18
5 項	イ	旅館等	1	1
	ロ	共同住宅等	59	43
6 項	イ	病院等	13	13
	ロ	特別養護老人ホーム等	1	7
	ハ	老人デイサービスセンター等	9	19
	ニ	幼稚園等		
7 項		学校	4	2
8 項		図書館等	1	
9 項	イ	特殊浴場		
	ロ	一般浴場		1
10 項		停車場		
11 項		神社・寺院等		1
12 項	イ	工場等	11	17
	ロ	スタジオ		
13 項	イ	駐車場等	2	5
	ロ	航空機等格納庫	1	
14 項		倉庫	18	28
15 項		事務所等	94	87
16 項	イ	特定複合用途防火対象物	17	16
	ロ	非特定複合用途防火対象物	1	5
専用住宅			91	91

3 消防用設備等検査済証の交付件数

(令和5年度)

防火対象物の用途区分			計	所 属 別			
				本 部	中央消防署	北消防署	南消防署
計			378	213	113	14	38
1 項	イ	劇場等					
	ロ	公会堂等	5	2	2	1	
2 項	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場等	1	1			
	ハ	性風俗特殊営業店舗等					
	ニ	カラオケボックス等					
3 項	イ	料理店等					
	ロ	飲食店	5	1	3		1
4 項		百貨店等	16	8	7		1
5 項	イ	旅館等	12	3	4	2	3
	ロ	共同住宅等	58	22	27	2	7
6 項	イ	病院等	19	11	7		1
	ロ	特別養護老人ホーム等	8	6	1		1
	ハ	老人デイサービスセンター等	23	3	12	1	7
	ニ	幼稚園等	8	4	4		
7 項		学校	13	9	4		
8 項		図書館等					
9 項	イ	特殊浴場					
	ロ	一般浴場	1			1	
10 項		停車場					
11 項		神社・寺院等	2		2		
12 項	イ	工場等	23	17	2		4
	ロ	スタジオ					
13 項	イ	駐車場等	3	2	1		
	ロ	航空機等格納庫	1		1		
14 項		倉庫	13	12	1		
15 項		事務所等	124	84	28	4	8
16 項	イ	特定複合用途防火対象物	41	28	7	3	3
	ロ	非特定複合用途防火対象物	2				2
17 項		重要文化財					

4 防火対象物関係申請・届出状況

(令和5年度)

届出種別	計	所 属 別			
		本 部	中央消防署	北消防署	南消防署
計	5,518	1,956	2,404	483	675
防火管理者選任（解任）届出	336	170	33	48	85
消防計画作成（変更）届出	698	209	334	55	100
統括防火管理者選任（解任）届出	10	8	2		
全体についての消防計画作成（変更）届出	5	5			
防災管理者選任（解任）届出	159	148	9		2
消防計画（変更）届出（防災管理）	128	119	6	1	2
統括防災管理者選任（解任）届出	3	3			
全体についての消防計画作成（変更）届出（防災管理）	3	3			
自衛消防組織設置（変更）届出	16	5	6	1	4
消防用設備等着工届出	299	201	63	8	27
消防用設備等設置届出	1,290	718	395	57	120
消防用設備等基準の特例適用申請	43	39		4	
消防用設備等点検結果報告	2,373	223	1,521	303	326
防火対象物点検結果報告	109	67	31	4	7
防災管理点検結果報告	46	38	4	2	2

5 火災予防条例関係申請・届出状況

(令和5年度)

出 種 別	計	所 属 別			
		本 部	中央消防署	北消防署	南消防署
計	1,763	182	1,036	278	267
禁止行為の解除承認申請	51	27	24		
火災と紛らわしい煙又は火炎を発生おそれのある行為届出	356		199	101	56
煙火打上げ・仕掛け届出	72	3	21	8	40
催物開催届出	8		7		1
道路工事届出	186		159	8	19
燃料電池・発電・変電・蓄電池設置届出	178	32	96	22	28
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱届出	70	1	28	14	27
火気使用設備設置届出	58	1	26	11	20
露店等の開設届出	219	1	184	22	12
防火対象物使用開始届出	553	117	286	88	62
その他	12		6	4	2

6 指定催しの指定

(令和5年度)

催しの名称	開催期間	指定要件
まつりつくば 2023	8月26日、27日	1日当たりの人出予想10万人を超える規模及び露店等の数が100を超えるもの

7 防火対象物の現況

(2024 年 4 月 1 日現在) 延べ面積 150 ㎡以上

防火対象物の用途区分			防火対象物数 総 数	5 階以上	5 階未満	地階のみ
計			10,423	665	9,758	0
1 項	イ	劇場等	1		1	
	ロ	公会堂等	73		73	
2 項	イ	キャバレー等	0			
	ロ	遊技場等	26		26	
	ハ	性風俗特殊営業店舗等	0			
	ニ	カラオケボックス等	5		5	
3 項	イ	料理店等	0			
	ロ	飲食店	294		294	
4 項		百貨店等	454	1	453	
5 項	イ	旅館等	60	19	41	
	ロ	共同住宅等	3,722	373	3,349	
6 項	イ	病院等	174	10	164	
	ロ	特別養護老人ホーム等	80	6	74	
	ハ	老人デイサービスセンター等	224	3	221	
	ニ	幼稚園等	50	2	48	
7 項		学校	430	46	384	
8 項		図書館等	20	2	18	
9 項	イ	特殊浴場	0			
	ロ	一般浴場	6		6	
10 項		停車場	8		8	
11 項		神社・寺院等	62		62	
12 項	イ	工場等	564	3	561	
	ロ	スタジオ	0			
13 項	イ	駐車場等	86	6	80	
	ロ	航空機等格納庫	6		6	
14 項		倉庫	592	4	588	
15 項		事務所等	2,551	101	2,450	
16 項	イ	特定複合用途防火対象物	646	60	586	
	ロ	非特定複合用途防火対象物	286	29	257	
17 項		重要文化財	3		3	

8 避難訓練実施状況

(令和5年度)

訓練種別 用途	計	避難 訓練	防火 講話	防災 映画	消火器 訓練	消火栓 訓練	消防車 出向
計	3,305	1,346	287	54	1,201	30	387
劇場・集会所	79	36	7	1	24	1	10
遊技場・ダンスホール	35	14			20	1	
カラオケボックス	39	17	1	2	17		2
料理店・飲食店	215	114	1		100		
百貨店・マーケット	481	254	4		218	3	2
旅館・ホテル	81	43	4		29	1	4
病院・診療所	111	61		1	46	1	2
老人短期入所施設・養護 老人ホーム	292	133	29	12	87	4	27
保育所・老人福祉施設等	614	180	94	17	203	1	119
幼稚園・特別支援学校	143	46	22	5	33		37
学校	170	67	27	1	45		30
工場・作業所	146	58	14	1	48	6	19
その他の事業所	489	163	50	8	174	9	85
複合用途	278	117	17	6	116	3	19
自治会（共同住宅）	132	43	17		41		31

9 広報活動状況

(令和5年度)

所 属 種 別	計	本 部	中央 消防署	豊 里 分 署	桜 分 署	並 木 分 署	北 消 防 署	筑 波 分 署	南 消 防 署	茎 崎 分 署
計	1,038	40	249	62	63	122	260	31	146	65
消防訓練指導	538	20	95	24	37	53	203	8	69	29
防火講話	287	20	67	24	12	53	36	9	44	22
消防施設の見学	90		73		2	2	5		5	3
映画会	20						2		14	4
火災予防運動期 間中の広報	103		14	14	12	14	14	14	14	7
山林火災予防の 広報										
その他の広報										

10 防火対象物表示制度状況

(令和5年度)

防火対象物の用途	表示マーク（銀） 交付対象物数	表示マーク（金） 交付対象物数
旅館・ホテル・宿泊所	0	2
複合用途防火対象物の内旅館・ホテ ル・宿泊所の用途を含むもの	0	1

11 防火・防災管理講習会の開催状況

(令和5年度)

講 習 種 別	回 数	受講者数
甲 種 防 火 管 理 新 規 講 習	2	82
甲 種 防 火 管 理 再 講 習	1	35
乙 種 防 火 管 理 講 習	0	0
防 災 管 理 新 規 講 習	1	20
防 災 管 理 再 講 習	0	0
防 火 防 災 管 理 併 催 再 講 習	1	31
計	5	168

12 管内危険物施設数

(令和5年度)

製造所等の区分	計	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所			
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所
	619	5	148	62	10	148	0	29	6	117	1	1	92

13 危険物製造所等許可件数

(令和5年度)

製造所等の区分	計	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所			
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所
	38 (33)	3 (3)	5 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	3 (2)	1 (1)	14 (13)	0 (0)	0 (0)	10 (10)

※ () 内数字は変更許可の件数を再掲したもの。

14 危険物製造所等完成検査実施件数

(令和5年度)

製造所等の区分	計	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所			
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所
	33 (25)	2 (2)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	11 (10)	0 (0)	0 (0)	11 (10)

※ () 内数字は変更許可の件数を再掲したもの。

15 危険物規制事務手数料

(令和5年度)

種 別	件 数	金 額
設 置 ・ 変 更 許 可 申 請 手 数 料	39	912 千円
完 成 検 査 申 請 手 数 料	33	407 千円
完 成 検 査 前 検 査 申 請 手 数 料 (少量危険物等タンク検査申請含む)	1	11 千円
仮使用・仮貯蔵・仮取扱承認申請手数料	25	135 千円
計	98	1,465 千円

16 予防技術資格者の認定状況

(2024年4月1日現在)

種 別	合 計
防 火 査 察 専 門 員	59
消 防 設 備 等 専 門 員	15
危 険 物 専 門 員	18

※1人で複数の資格を有する場合は、重複して計上しています。

17 火薬類取締法における許可件数・事務手数料

(令和5年度)

種 別	件 数	金 額
譲 渡 許 可	1	1,200 円
譲 受 許 可	3	16,200 円
消 費 許 可	煙 火	63,200 円
	煙 火 以 外	0 円
計	14	80,600 円

18 消防音楽隊

(1) 結 成 平成2年5月

(2) 編 成 隊 員 33名・専任講師1名

(3) 階級別編成 (2024年4月1日現在)

階 級	計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
構成人員	33	2	11	3	8	6	3

(4) 楽器の保有状況

(2024年4月1日現在)

打楽器	数	金管楽器	数	木管楽器	数
コンサートグロッケン	1	トランペット	4	ピッコロ	2
スネアドラム	2	ホルン	3	フルート	5
バスドラム	3	ユーフォニウム	3	クラリネット	7
ドラムセット	2	テナートロンボーン	2	バスクラリネット	1
ティンパニ	4	バストロンボーン	1	アルトサックス	3
シロフォン	1	チューバ	2	テナーサックス	2
ビブラフォン	1	スーザフォン	2	バリトンサックス	1
シンバル	2	弦楽器	数	鍵盤楽器	数
マーチングタム	1	エレキベース	1	シンセサイザー	1
ボンゴ	1				
チャイム	1				

(5) 活動状況

(令和5年度)

区 分	消 防 関 係	そ の 他	計
演 奏 回 数	1	4	5

第 3 節 警防編



1 消防車両等

(2024 年 4 月 1 日現在)

種 別 所 属	計	水槽付 ポンプ 自動車	非常 用消 防自 動車	大 型 水 槽 車	普 通 ポ ン プ 自 動 車	は し ご 車 ・ 4 0 m 級	は し ご 車 ・ 1 5 m 級	化 学 車	救 助 工 作 車	高 規 格 救 急 車	支 援 車	非 常 用 救 急 自 動 車	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	指 揮 車 ・ 指 令 車	連 絡 車	資 材 搬 送 車	重 機	重 機 搬 送 車	地 水 利 調 査 用 バ イ ク	消 防 バ ス	救 急 普 及 啓 発 広 報 車	ボ ー ト 搬 送 ト レ ー ラ ー
計	69	8	2	1	1	1	1	1	3	9	1	2	1	9	17	1	1	1	6	1	1	1
消防本部	12										1			1	8					1	1	
中央消防署	20	1	1	1	1	1	1	1	1	2		2		1	2	1	1	1	2			
豊里分署	4	1								1				1	1							
桜分署	4	1								1				1	1							
並木分署	4	1								1				1	1							
北消防署	8	1	1						1	1				1	1				2			
筑波分署	5	1								1			1	1	1							
南消防署	8	1							1	1				1	1				2			1
荃崎分署	4	1								1				1	1							

令和 5 年度更新



桜分署 水槽付ポンプ自動車

2 消防水利

(2024 年 4 月 1 日現在)

種 別 \ 署 別	総数	中央 消防署	豊里 分署	桜 分署	並木 分署	北 消防署	筑波 分署	南 消防署	荃崎 分署
総数	4,838	967	357	594	563	713	270	820	554
消火栓	2,603	600	124	380	349	341	108	422	279
公設消火栓	2,478	555	122	349	308	341	108	418	277
私設消火栓	125	45	2	31	41			4	2
公設防火水槽 (m ³)	1,415	220	171	156	99	231	78	234	226
20 以上～40 未満	239	35	34	21	17	50	6	36	40
40 以上～60 未満	827	124	77	115	73	92	41	133	172
60 以上～100 未満	322	60	60	20	6	77	30	60	9
100 以上	27	1			3	12	1	5	5
私設防火水槽 (m ³)	599	116	54	28	98	90	49	121	43
20 以上～40 未満	8		2		2	3	1		
40 以上～60 未満	373	80	26	20	71	48	29	74	25
60 以上～100 未満	204	33	25	8	23	37	16	45	17
100 以上	14	3	1		2	2	3	2	1
※飲料水兼用防火水槽 (m ³)	4	1	0	0	1	1	0	0	1
40 以上～100 未満	3	1			1	1			
100 以上	1								1
貯留水利	221	31	8	30	17	51	35	43	6
プール	54	10	3	6	14	10		8	3
池・濠等	167	21	5	24	3	41	35	35	3

※飲料水兼用防火水槽は公設防火水槽に含む。

3 消防器具保有状況

(2024 年 4 月 1 日現在)

分類	品名	計	所 属 別 保 有 数								
			本部	中央消防署	豊里分署	桜分署	並木分署	北消防署	筑波分署	南消防署	茎崎分署
放水器具	小型動力ポンプ	4			1	1			1		1
	高圧動力噴霧装置	7		1	1		2	1		1	1
	ホースカー	14		3	1	1	2	2	2	2	1
	フォグガン	12		3	1	1	1	2	1	2	1
	無反動ノズル	18		8	1	1	2	1	2	2	1
	放水銃	4		2	1						1
	高発泡ノズル	2		2							
	低発泡ノズル	14		4	1	1	2	2	1	1	2
	ウォーターチャージャー	8		1	1	1	1	1	1	1	1
	背負式ポンプ	66		16	6	6	5	14	8	5	6
	簡易水槽	2	1						1		
照明器具	発動発電機 500 以上 1000 未満	17	2	6		1	3	2	1	2	
	〃 1000 以上 1500 未満	0									
	〃 1500 以上 2000 未満	10	1	3	1			1	1	2	1
	〃 2000 以上 2500 未満	3	1	1		1					
	〃 2500 以上 3000 未満	3		1				1		1	
	〃 3000 以上 3500 未満	2		1						1	
	〃 3500 以上 4000 未満	0									
	〃 4000 以上 4500 未満	1						1			
	〃 4500 以上 5000 未満	1								1	
	〃 5000 以上	2	2								
	投光器一式	23		11	1	1	2	2	2	3	1
保護器具	空気呼吸器 (300 型)	110		44	5	5	5	21	8	17	5
	簡易呼吸器	4		2				2			
	酸素呼吸器	7		3				2		2	
救助用器具	エンジンカッター	12		3	1	1	1	1	2	2	1
	ガス溶断機	4		2				1		1	
	チェーンソー	23		6	3	4	1	1	2	3	3
	空気鋸	6		2				2	1	1	
	エアークッター	3		1				1		1	
	鉄線カッター	18		5	2	1	1	4	2	2	1
	万能斧	26		11	1	2	2	3	3	3	1
	削岩機	4		2				1		1	
	ハンマードリル	5		2				2		1	
	可搬式ウインチ	10		2	1		1	2	1	2	1
	マット型空気ジャッキ	5		2				2		1	

分類	品名	計	所 属 別 保 有 数								
			本部	中央消防署	豊里分署	桜分署	並木分署	北消防署	筑波分署	南消防署	茎崎分署
救助用器具	油圧式救助器具	13		4	1		1	1	1	3	2
	空気式救助マット	3		1				1		1	
	救命索発射銃	2		1				1			
	送排風機	4		2				1		1	
	救命胴衣	290		83	22	24	22	47	25	45	22
	救命ボート	5		2				1		2	
	船 外 機	5		2				1		2	
	水中探査装置	1	1								
	携帯用拡声器	31		11	1	2	4	4	4	4	1
	マンホール救助器具	5		2				2		1	
	救助用支柱器具	2		2							
	チェーンブロック	1		1							
	簡易画像探査機	3		1				1		1	
	救助用降下機	1		1							
	コンクリート ・鉄筋切断チェーンソー	1		1							
	バスケット担架	12		4	1			3	1	2	1
	救 命 浮 環	39		4	2	3	2	4	3	10	11
	緩 降 機	5		2				1		2	
	携帯用コンクリート破壊器具	5		2				2		1	
	カギ付梯子	17		6	1	1	2	3	1	2	1
	三連梯子	11		3	1	1		2	1	2	1
	二連梯子	6		2	1		2	1			
	ワイヤー梯子	4		2				1		1	
	救急処置セット	10		3	1		1	2	1	1	1
	空気充填機	1		1							
	山林火災用資機材	130		27	13	14	5	20	21	17	13
	車両移動器具	2		2							
特災用器具	耐熱性防火服	5		5							
	耐電用防護服	21		7	2	1		3	2	4	2
	耐電用防護手袋	54		20	2	4	1	11	3	11	2
	レベル A 防護服 (陽圧式化学防護服)	19		19							
	レベル B 防護服 (化学防護服)	177		91	11	12	17	15	7	17	7
	レベル C 防護服 (タイベックススーツ等)	365	3	61	8	4	26	108	4	130	21
	放射線防護消防服	16		5				7		4	

分類	品名	計	所 属 別 保 有 数								
			本部	中央消防署	豊里分署	桜分署	並木分署	北消防署	筑波分署	南消防署	荃崎分署
特災用器具	被除染者用簡易衣服	171		171							
	防毒マスク	105	4	34	10	6	6	16	6	16	7
	防塵メガネ・マスク	323	65	74	22	22	22	38	22	36	22
	携帯警報機	45		21	4			8	4	8	
	有毒物質中和剤散布機セット	3		3							
	塩素ガス中和剤（クロレス）	2		2							
	有毒物質試料採取セット一式	2		2							
	酸・アルカリ対応用手袋	18		12		4					2
測定器具	複合型ガス測定器	15		5	1	1	2	2	1	2	1
	有毒ガス検知測定器 （検知管セット）	4		2				1		1	
	携帯用小型可燃性ガス検知警報器	32		13	2	2	2	4	2	5	2
	放射線測定器	27		17				6		4	
	ポケット線量計	76	3	25	4	4	4	16	4	12	4
救急用器具	人工呼吸器	11		4	1	1	1	1	1	1	1
	加湿流量計付酸素吸入装置	11		4	1	1	1	1	1	1	1
	電動式吸引器	22		8	2	2	2	2	2	2	2
	自動式心臓マッサージ装置	9		2	1	1	1	1	1	1	1
	保育器	6		1		1	1	1		1	1
	除細動器	11		4	1	1	1	1	1	1	1
	患者用観察用モニター	11		4	1	1	1	1	1	1	1
	自動式人工呼吸器	11		4	1	1	1	1	1	1	1
	レサシアン(リトルアン含む) (成人用)	58		11	4	8	8	9	5	8	5
	〃 (小児用)	33		8	1	4	5	8		7	
	〃 (乳幼児用)	28		8	2	4	5	5		4	
	A E D トレーナー	42		9	3	4	5	8	2	9	2
	気道管理訓練用カットモデル	7		1	1	1		1	1	1	1
	気道管理トレーナー（成人）	3		1				1		1	
	〃 (乳幼児用)	3		1				1		1	
	外傷モデルキット	0									
	オゾン殺菌装置	11		4	1	1	1	1	1	1	1
	エアーテント	4	4								
その他	携帯無線機	42	3	14	3	3	3	5	4	4	3
	衛星携帯電話	2	2								

4 消防機関の出動状況

(2023年1月～12月)

種別 区分	計	火災	林野火災	風水害等の災害	演習訓練	訓練指導	警防調査	原因調査	特別警戒	遭難	予防査察	その他	火災の誤報 いたずら等
計													
回数	2,265	123	15	26	112	282	428	107	251	0	362	574	18
人員	11,008	2,351	200	112	588	1,186	1,485	506	837	0	1,215	2,728	199
車両台数	3,586	832	93	33	193	380	466	158	259	0	433	832	62
中央消防署													
回数	546	36	5	4	38	79	76	30	61	0	70	152	13
人員	2,804	617	49	22	190	309	264	165	250	0	228	759	121
車両台数	889	205	28	6	65	106	93	47	68	0	86	213	35
豊里分署													
回数	285	19	6	1	10	21	34	13	121	0	17	49	0
人員	1,311	395	77	3	32	112	113	53	375	0	60	168	0
車両台数	432	133	40	1	11	34	36	17	121	0	22	57	0
桜分署													
回数	298	11	0	4	4	38	63	12	7	0	85	74	1
人員	1,407	243	0	27	11	159	235	48	21	0	275	388	18
車両台数	457	86	0	8	4	52	72	14	7	0	95	119	6
並木分署													
回数	148	14	1	4	3	10	19	10	8	0	25	55	0
人員	806	284	15	12	6	33	56	47	24	0	80	264	0
車両台数	276	99	5	4	3	11	19	16	8	0	31	85	0
北消防署													
回数	355	21	1	2	13	45	85	15	26	0	52	96	0
人員	1,678	356	15	8	50	185	287	88	79	0	178	447	0
車両台数	559	153	5	2	14	56	84	27	26	0	59	138	0
筑波分署													
回数	132	5	1	0	11	11	24	11	12	0	24	34	0
人員	560	89	18	0	39	35	75	36	32	0	101	153	0
車両台数	197	32	7	0	11	15	24	18	12	0	33	52	0
南消防署													
回数	358	12	1	4	23	59	82	12	15	0	73	78	4
人員	1,666	256	26	20	108	275	290	48	53	0	225	391	60
車両台数	521	85	8	5	33	81	85	13	16	0	85	118	21
茎崎分署													
回数	143	5	0	7	10	19	45	4	1	0	16	36	0
人員	776	111	0	20	152	78	165	21	3	0	68	158	0
車両台数	255	39	0	7	52	25	53	6	1	0	22	50	0

第 4 節 消防指令編



1 高機能消防指令センター

平成 27 年 3 月 16 日から運用を開始したこのシステムは、コンピューター技術と通信技術を駆使し、災害内容や規模に応じた消防自動車等の配備など、一連の処理を自動化し迅速かつ確実な指令管理能力を備え、火災・救助・救急等の災害対応を図るものです。

通報受付

119 番通報は、消防指令センターに入電します。

○指令台/指揮台

119 番通報から火災、救助、救急を受付し、各消防署に出動指令、消防自動車等への無線交信をするとともに、関係機関への連絡を行うもの。

○緊急通報システム N E T 1 1 9

聴覚や発話に障がいのある方が、携帯電話やスマートフォンのインターネット機能を利用して、簡単な画面操作で通報するもの。(登録制)

○緊急通報システム L I V E 1 1 9

音声での 119 番通報だけでは伝えきれない災害の状況や傷病者の状態をスマートフォン等で撮影し、その映像を消防指令センターへ送信することができるもの。

○F A X 1 1 9 受信装置

聴覚や発話に障がいのある方が、F A X を利用して通報するもの。(登録制)

○多言語コールサービス

日本語を話せない外国人から 119 番通報を着信した際、コールセンターの通訳を介して受付するもの。

災害地点特定

○統合型位置情報通知装置

固定電話・携帯電話・I P 電話からの 119 番通報受付時に通報場所情報を受信し、指令台モニターに地図情報等を表示するもの。

災害種別

通報情報を基に、火災・救急・救助等の災害種別を決定します。

出動指令 的確な出動指令を行います。

○自動出動指定装置

災害種別、発生場所から出動させる消防自動車等を自動指定して、各消防署へ出動指令をかけるもの。

○順次指令装置

火災の出動指令後に、災害情報を消防団員へ E メールで一斉配信し、関係機関には自動音声で電話をかけるもの。

○指令情報送信装置

各消防署に指令情報を送信するもの。

出 動

○指令情報出力装置・署所端末装置

各消防署にて指令情報を受信し、地図付きの指令書をプリントするもの。

○総合情報表示盤

消防自動車等の運用状況を表示するもの。

○災害対策用画像伝送装置

災害現場の状況を、対策本部のモニターに映像表示させるもの。

※テレホンサービス 火災・災害等の情報提供をするもの。

☎029-855-2119

災害支援情報

○車両運用端末装置（AVM）

消防自動車等に、地図付きの災害情報を表示させるもの。

○車載型・携帯型無線装置

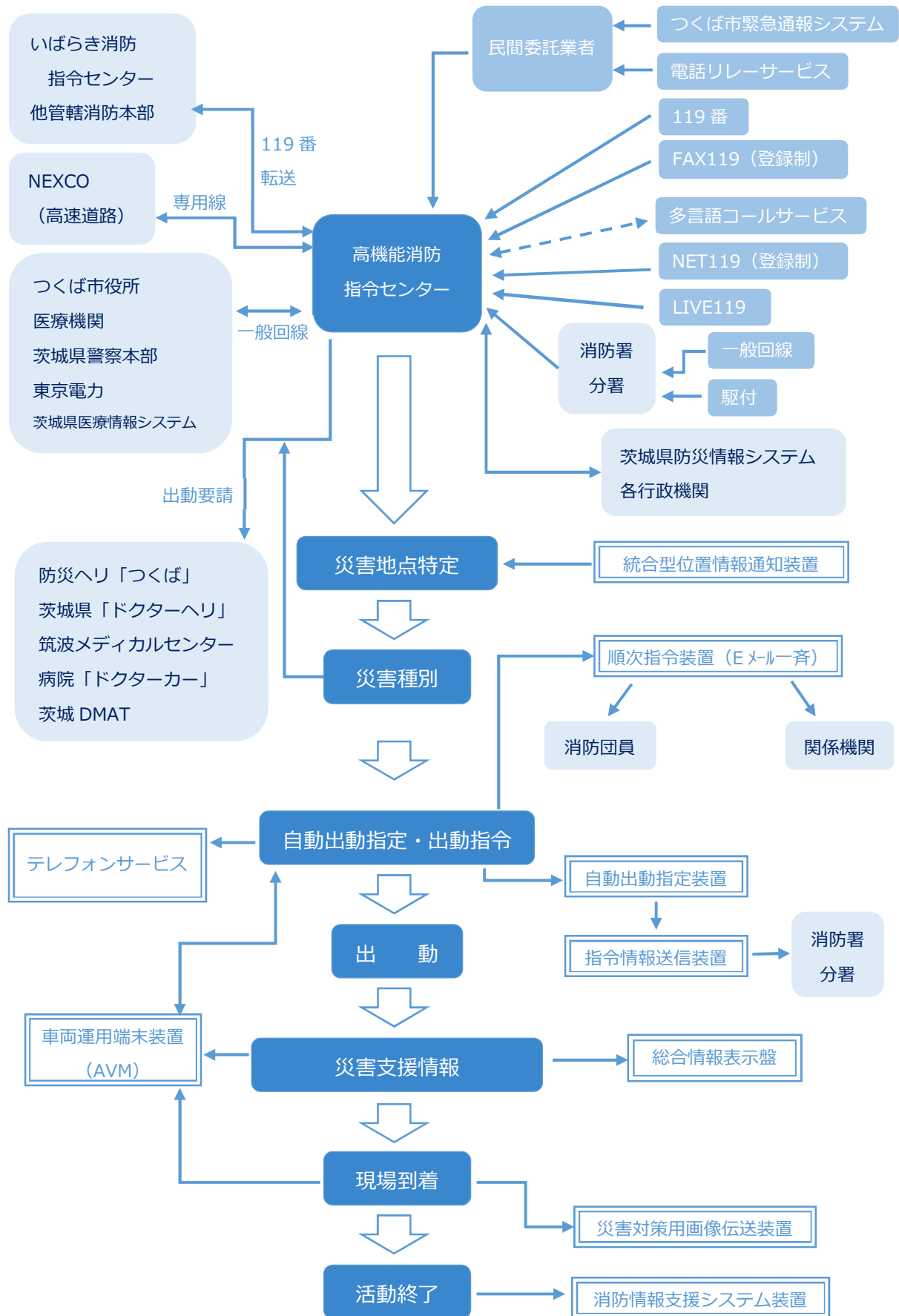
消防指令センターと災害現場間で無線交信を行うもの。

活動終了

○消防情報支援システム装置

全ての活動終了後、災害状況や活動内容はデータとして蓄積され、各種統計や、類似災害の消防活動に活かされます。

2 高機能消防指令システム系統



3 消防無線配置状況

(2024 年 4 月 1 日現在)

運用波	主運用波	統制波 1 統制波 2 統制波 3		活動波 1 活動波 2 活動波 3		
署所名	種別 車 載	携 帯		卓上型固定	署活系 (携帯)	計
		5W	2W			
本 部	3		3	1	4	11
中 央 消 防 署	14	1	13	1	23	52
豊 里 分 署	3		3	1	6	13
桜 分 署	3		3	1	7	14
並 木 分 署	4		3	1	7	15
北 消 防 署	4	1	5	1	11	22
筑 波 分 署	4		4	1	7	16
南 消 防 署	4	1	5	1	11	22
荃 崎 分 署	3		3	1	7	14
計	42	3	42	9	83	179

4 通報件数

(2023 年 1 月～12 月)

要請種別	着信件数	1 1 9 番通報		119 番以外の通報	N E T 1 1 9	L I V E 1 1 9	F A X 1 1 9	多言語
		固定・IP 電話	携帯電話					
火 災	159	22	112	25				
救 急	11,899	4,147	6,969	783	3	8	1	26
救 助	135	14	81	40		11		
災 害	534	62	255	217		3		
同 報	257	46	211					
病 院 案 内	427	66	360	1				
誤報・間違い	1,869	209	1,653	7				1
問 合 せ	826	172	624	30				4
訓練・試験等	1,708	1,195	487	26				
計	17,814	5,933	10,752	1,129	3	22	1	31

※同報は火災・救急・救助・災害の同一通報です。

※通報件数のため、実際の出動件数とは異なります。

5 気象情報発表件数

(2023 年 1 月～12 月)

特別 警報	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
暴風													0
大雨													0
その他													0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
警報	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
暴風													0
大雨						2		1	1				4
洪水						1			1				2
その他													0
計	0	0	0	0	0	3	0	1	2	0	0	0	6
注意報	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
強 風	5	7	2	5	1	1			2	3	6	4	36
大 雨					1	4		4	2	2			13
洪 水						3		2	3				8
大 雪	2	1											3
低 温	7	4											11
乾 燥	6	13	3	3								1	26
濃 霧	3	3	13	8	13	16	13	10	14	13	14	3	123
霜			1	6							13		20
雷	2	2	8	6	7	13	12	16	18	11	9	2	106
その他	1												1
計	26	30	27	28	22	37	25	32	39	29	42	10	347
注意 情報等	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
竜巻				1	1	1	4	2	3	1	1		14
その他													0
計	0	0	0	1	1	1	4	2	3	1	1	0	14

※継続発表も 1 件として集計しています。

6 気象状況

(2023 年 1 月～12 月 つくば市消防本部観測 標高：25m)

	平均 風速 (m/s)	平均 風向 (m/s)	瞬間最 大風速 (m/s)	平均 気温 (℃)	最高 気温 (℃)	最低 気温 (℃)	時間最 大雨量 (mm)	月最大 雨量 (mm)	月積算 雨量 (mm)
1 月	2.4	北西	19.9	4.1	14.4	-5.6	2.0	8.5	14.0
2 月	2.4	北北西	20.9	5.8	18.3	-4.7	3.5	17.0	29.5
3 月	2.2	北北西	17.7	11.8	22.7	0.0	6.0	22.0	81.0
4 月	3.1	南	23.3	15.2	27.8	3.6	3.5	22.5	48.5
5 月	2.5	南	16.9	18.3	33.9	7.9	11.5	22.0	124.0
6 月	2.2	東南東	26.2	22.7	33.7	13.3	38.0	167.5	315.5
7 月	2.4	南南東	14.1	28.1	37.6	21.2	4.5	10.0	23.5
8 月	2.7	南東	15.0	29.0	37.3	23.0	22.5	25.0	78.0
9 月	2.4	南東	17.8	26.3	35.5	15.4	12.5	63.5	115.5
10 月	2.0	北北西	19.9	17.6	27.2	7.9	16.0	35.0	129.0
11 月	2.1	北西	22.3	12.9	25.3	1.7	8.5	30.0	43.5
12 月	1.9	北西	18.1	7.5	19.9	-2.2	3.5	13.5	19.5

7 気象観測最大最小値

(2023 年 1 月～12 月 つくば市消防本部観測 標高：25m)

観測項目	観測月日	観測値	
瞬間最大風速	令和 5 年 6 月 2 日 15 時 57 分	26.2 (南)	m/s
最高気温	令和 5 年 7 月 26 日 14 時 02 分	37.6	℃
最低気温	令和 5 年 1 月 29 日 6 時 48 分	-5.6	℃
時間最大雨量	令和 5 年 6 月 2 日 24 時 00 分	38.0	mm
日積算最大雨量	令和 5 年 6 月 2 日	167.5	mm
月積算最大雨量	令和 5 年 6 月	315.5	mm

第 5 節 火災編



1 火災概況

△：減

区分		2023 年 (令和 5 年)	2022 年 (令和 4 年)	比較
出火件数	合 計	134	62	72
	建 物	56	30	26
	林 野	14	5	9
	車 両	11	4	7
	船 舶	0	0	0
	航 空 機	0	0	0
	そ の 他	53	23	30
焼損棟数 (棟)	合 計	72	41	31
	全 焼	19	12	7
	半 焼	4	2	2
	部 分 焼	26	14	12
	ぼ や	23	13	10
損 害 額 (千円)	合 計	247,062	86,721	160,341
	建 物	226,649	82,180	144,469
	林 野	239	0	239
	車 両	17,764	720	17,044
	船 舶	0	0	0
	航 空 機	0	0	0
	そ の 他	2,410	3,821	△1,411
焼損面積	建物(m ²)	3,211	967	2,244
	林野(a)	88	15	73
死傷者数	死 者	6	0	6
	負 傷 者	11	13	△2
出火率 (件/万人)		5.2	2.4	2.8

※出火率とは人口 1 万人あたりの出火件数をいう。

1 日当たりの火災概況

区分	出火件数	損害額 (千円)	焼損面積	
令和 5 年	0.37 件	677	建物 (m ²)	8.79
			林野 (a)	0.241

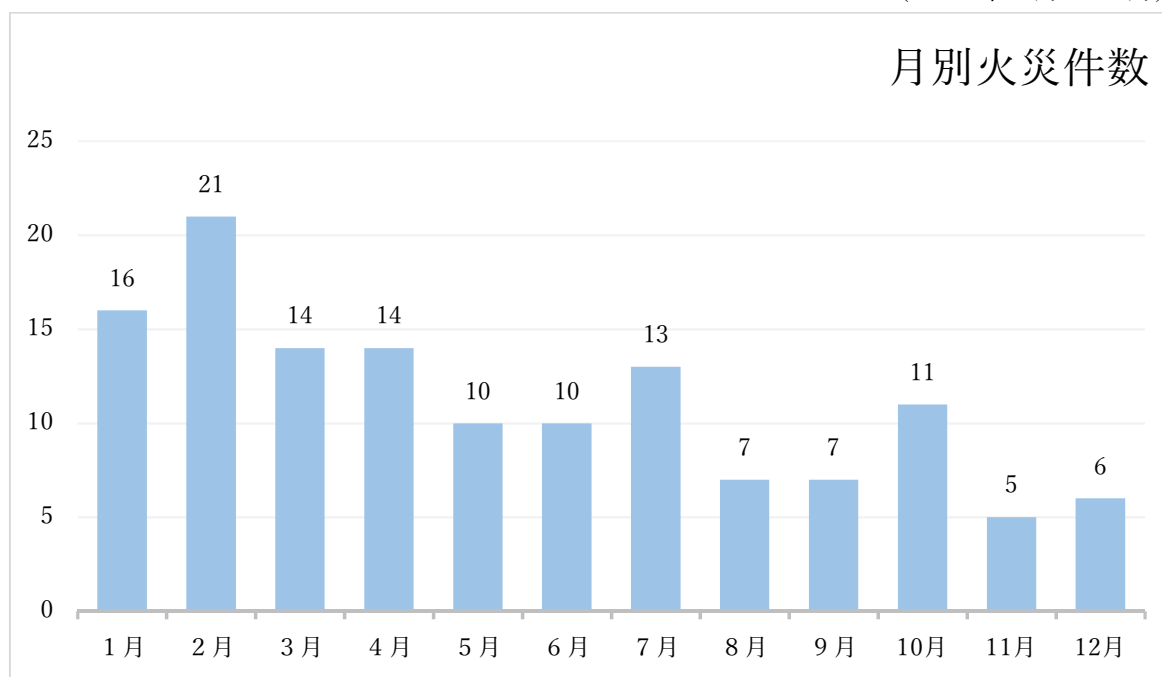
2 地区別火災件数及び損害額

(2023 年 1 月～12 月)

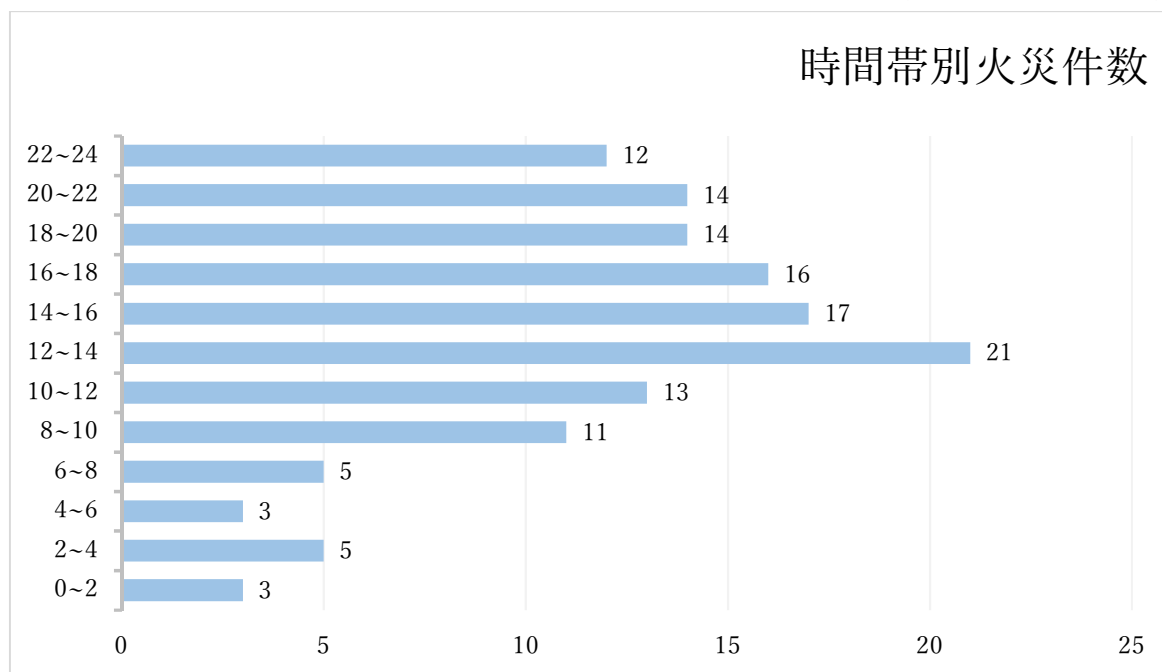
地区名	火災件数合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
	損害額合計 (千円)						
筑 波	17	9		2			6
	62,681	59,706		2,020			955
大 穂	18	7	1	1			9
	17,770	14,493	0	2,939			338
豊 里	29	6	9	1			13
	16,658	16,513	0	135			10
谷田部	40	19	3	5			13
	53,039	39,543	239	12,560			697
桜	23	10	1	2			10
	45,231	44,790	0	110			331
荃 崎	7	5					2
	51,683	51,604					79
合 計	134	56	14	11	0	0	53
	247,062	226,649	239	17,764			2,410

3 月別・時間帯別火災件数

(2023 年 1 月～12 月)



(2023 年 1 月～12 月)

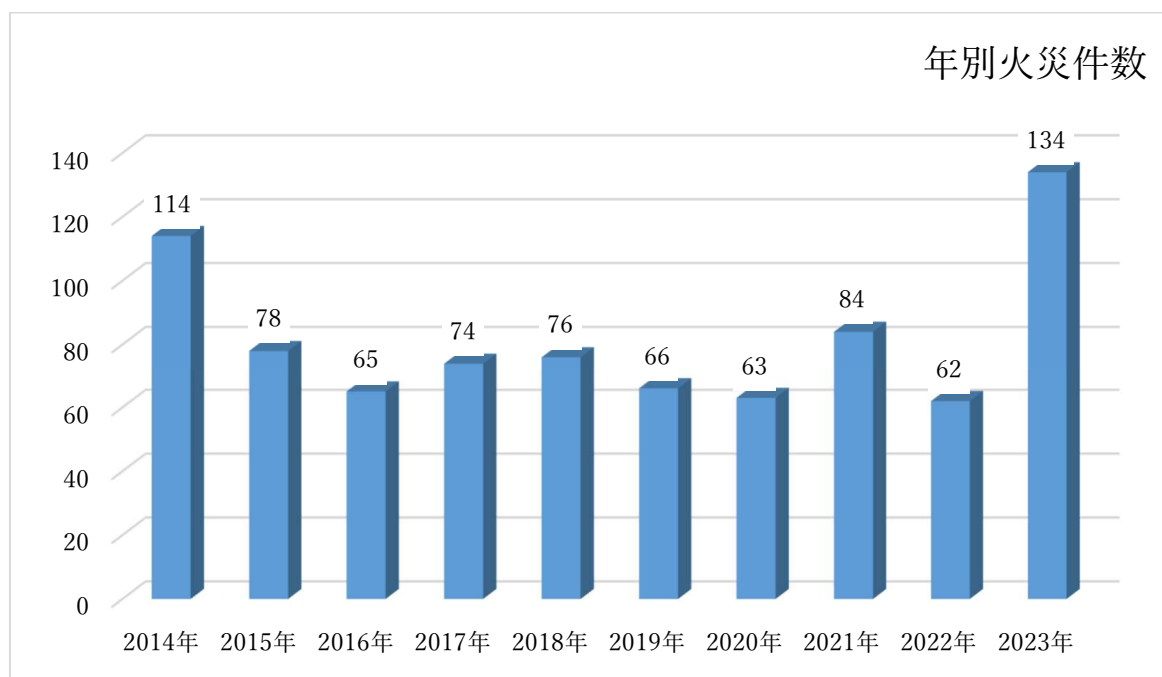


4 曜日別火災件数

(2023 年 1 月～12 月)

曜 日	計	月	火	水	木	金	土	日
全 火 災	134	18	19	26	23	11	17	20
建 物 火 災	56	6	12	8	8	3	8	11

5 過去 10 年間の火災件数推移



6 主な出火原因

(2023 年 1 月～12 月)

順 位	原 因	件 数	火災総数に 占める比率
1	放火、放火の疑い	39 件	29.1%
2	たばこ	8 件	5.9%
3	こんろ	7 件	5.2%
	電気配線	7 件	5.2%
5	たき火	6 件	4.5%
	電気機器	6 件	4.5%
7	火入れ	5 件	3.8%
—	その他	51 件	38.0%
—	不明	5 件	3.8%
合計		134 件	100%

7 過去3年間の主な出火原因

順位 年・件数	1位	2位	3位	4位	5位
2023年 総件数 134件	放火 放火の疑い	たばこ	こんろ 電気配線	たき火 電気機器	火入れ
	39件	8件	各7件	各6件	5件
2022年 総件数 62件	放火 放火の疑い	たばこ	電気機器	たき火	ストーブ
	20件	7件	6件	5件	4件
2021年 総件数 84件	たき火	放火 放火の疑い	たばこ	電気配線	電気機器等 ストーブ
	17件	13件	4件	3件	各2件

8 出火原因による主な発火源・経過・着火物

(2023年1月～12月)

出火原因	発火源	経過	着火物
放火、放火の疑い (39件)	不明	放火、放火の疑い	枯草
たばこ (8件)	たばこ	火源が動いて接触する	枯草
こんろ (7件)	電磁調理器	放置する、忘れる	動植物油類
電気配線 (7件)	その他の配線器具	電線が短絡する スパークする	ふとん、座ぶとん 寝具等 電線被類
たき火 (6件)	たき火の火の粉	火の粉が散る 遠くへ飛火する	枯草、木材原木
電気機器 (6件)	リチウム電池	電線が短絡する 過多の電流を流す等	マット 段ボール等

9 火災統計

(2023 年 1 月～12 月)

No.	出火日	出火時分	鎮火時分	覚知別	火災種別	死者	負傷者	全焼	半焼	部分	ぼや	焼損物件等
1	1 月 2 日	20 時 30 分	21 時 26 分	119	その他							集積物等 99 m ² 焼損
2	1 月 5 日	15 時 00 分	15 時 21 分	加入	その他							植樹帯の低木及び周囲の落葉 2.4 m ² 焼損
3	1 月 8 日	0 時 17 分	2 時 35 分	119	その他							枯草及び原木が 24 m ² 焼損
4	1 月 9 日	16 時 25 分	17 時 50 分	119	林野							立木 4 本、枯草、倒木及び枝など 165.34 m ² 焼損
5	1 月 10 日	12 時 45 分	13 時 51 分	119	建物			2			1	スチール造平屋建て物置 2 棟 7.72 m ² 全焼、木造 2 階建て住宅の窓ガラス 0.75 m ² ぼや、雨樋及び網戸焼損
6	1 月 13 日	22 時 05 分	1 月 14 日 0 時 49 分	119	建物					1		RC 造 8 階建て地下 1 階事業所 57.6 m ² 部分焼
7	1 月 14 日	9 時 10 分	9 時 38 分	119	建物					1		鉄筋コンクリート造 4 階建て 1.54 m ² 部分焼及びプランター焼損
8	1 月 17 日	5 時 45 分	8 時 55 分	119	建物			1			1	木造 2 階建て一般住宅 133.0 m ² 全焼、木造 2 階建て一般住宅ぼや
9	1 月 22 日	15 時 00 分	15 時 59 分	119	その他							下草、枯草及び立木 620.01 m ² 焼損

10	1月25日	16時48分	17時24分	119	車両						2tトラック1台、道路12㎡及び街路樹1本焼損
11	1月27日	8時15分	9時18分	119	建物					1	木造平屋建て作業場98.82㎡部分焼
12	1月29日	15時45分	16時37分	119	その他						枯草688.3㎡、室外機1機、普通車1台焼損
13	1月30日	12時00分	19時15分	加入	建物	1				1	軽量鉄骨造3階建て共同住宅2.20㎡部分焼、34歳女性1名死亡
14	1月30日	16時59分	17時25分	加入	その他						下草216.06㎡焼損
15	1月31日	10時10分	11時20分	加入	その他						芝畑及び雑草地4,623.6㎡焼損
16	1月31日	23時00分	2月1日 6時30分	119	建物	1	1		1		鉄骨造2階建て共同住宅41.4㎡半焼、52歳女性1名死亡、73歳男性1名軽症
17	2月1日	9時56分	10時27分	119	その他						不燃ごみ20㎡が焼損
18	2月1日	11時20分	13時32分	119	建物			2		1	鉄骨造一部木造平屋建て工場54.90㎡全焼及びアルミ造平屋建てコンテナ倉庫5.58㎡全焼、鉄骨造2階建て一般住宅60.36㎡部分焼
19	2月1日	13時20分	14時26分	119	その他						枯草4,391㎡焼損
20	2月4日	22時46分	23時36分	119	その他						産業廃棄物52.43㎡焼損

21	2月6日	23時25分	2月7日 4時00分	119	建物	1		1	3	木造2階建て一般住宅 182.33 m ² 全焼、木造2階建て車庫兼住居 12.96 m ² 部分焼、木造平屋建て一般住宅 4.86 m ² 部分焼、木造2階建て一般住宅 4.84 m ² 部分焼、87歳男性1名死亡
22	2月8日	10時20分	12時33分	119	建物		1		1	木造2階建て住居兼物置 48.60 m ² 半焼 37歳男性1名中等症
23	2月8日	14時45分	20時52分	119	建物	1		1		プレハブ造平屋建て物置 84 m ² 全焼、篠竹 5 m ² 焼損、87歳男性1名死亡
24	2月9日	17時20分	17時42分	119	その他					照明灯1基、足場用飛散防止メッシュシート 900 mm×6,300 mm 2枚及び養生用綿シート1枚を焼損。
25	2月15日	9時10分	10時23分	その他	その他					芝畑 4,965.5 m ² 及び下草 90 m ² 、トタン 50枚、フェンス 23枚焼損
26	2月15日	17時00分	18時03分	119	その他					下草及び落ち葉 210 m ² 焼損
27	2月16日	15時25分	16時00分	119	その他					落ち葉及び篠竹 52.19 m ² 焼損

28	2月16日	16時16分	16時53分	119	その他						空地の枯草 68.75 m ² 及び 木製パレット 1枚焼損
29	2月19日	0時00分	1時30分	119	その他						雑木林 292.89 m ² 焼損
30	2月19日	3時12分	3時44分	119	建物					1	木造2階建て 飲食店 9.49 m ² 部分焼
31	2月20日	18時05分	18時35分	119	車両						軽自動車1台 焼損
32	2月21日	23時30分	23時55分	119	建物		1			1	鉄骨造2階建 て共同住宅 6 m ² 部分焼、19 歳男性1名軽 症
33	2月23日	13時10分	14時48分	加入	林野						竹林の竹、下 草及びごみ 215 m ² 焼損
34	2月23日	13時20分	13時58分	119	その他						芝畑 2,355.09 m ² 焼損
35	2月23日	15時45分	19時24分	119	林野						雑木林の枯草 6,323.2 m ² 焼損
36	2月25日	16時31分	16時59分	119	建物					1	収容物のみ焼 損
37	2月27日	17時03分	17時41分	119	その他						枯草及びごみ 1,683 m ² 焼損
38	3月1日	11時10分	11時46分	119	その他						枯草 793.40 m ² 焼損
39	3月4日	16時00分	18時54分	加入	その他						枯草及び水田 の枯草 3,474.8 m ² 焼損
40	3月4日	16時50分	16時52分	事後 聞知	建物		1			1	収容物のみ焼 損、23歳女性 軽症
41	3月8日	15時50分	16時40分	119	その他						産業廃棄物用 コンテナ1台 焼損
42	3月9日	11時00分	12時20分	事後 聞知	その他						枯草及び下草 2,043.2 m ² 焼損
43	3月11日	21時10分	23時59分	加入	林野						落葉及び立木 928.08 m ² 焼損
44	3月14日	12時53分	13時10分	119	その他	1					72歳女性1名 死亡

45	3月15日	14時10分	15時53分	119	その他						芝畑 8,495 ㎡、下草 2,100 ㎡焼損
46	3月16日	18時30分	21時00分	119	林野						檜の木及び落 葉 291 ㎡焼損
47	3月17日	17時39分	18時06分	119	車両						軽自動車 1 台 焼損
48	3月17日	19時27分	22時55分	119	その他						枯草及び原木 70 ㎡焼損
49	3月22日	14時15分	15時53分	119	その他						丸太及び木の 枝 84 ㎡焼損
50	3月24日	20時04分	20時33分	119	林野						落葉、篠竹原 木及び枯草 8.58 ㎡焼損
51	3月29日	9時10分	11時19分	加入	建物					1	木造 2 階建て 一般住宅 0.14 ㎡ぼや、スト ープ 1 台焼損
52	4月1日	12時50分	15時11分	119	その他						下草及び篠竹 3,500 ㎡焼損
53	4月2日	22時40分	23時15分	119	その他						廃棄された可 燃物 5.76 ㎡焼 損
54	4月3日	13時00分	14時21分	119	建物		1			1	木造平屋建て 一般住宅 0.02 ㎡ぼや、芝畑 及び下草 213.1 ㎡焼 損、90 歳男性 1 名中等症
55	4月6日	19時25分	21時04分	119	建物			1			その他造平屋 建て倉庫 15 ㎡全焼、枯草 1,600 ㎡、米 4 袋、チラシ 1 ぺ、包材 1 箱 焼損
56	4月6日	20時05分	20時38分	119	その他						竹及び落葉 16 ㎡焼損
57	4月8日	1時29分	1時57分	加入	その他						損害なし

58	4月12日	11時00分	12時30分	加入	その他						木材50本、 角材20本、 原木10本、 貯水槽1基焼 損
59	4月19日	12時30分	13時07分	119	車両						普通乗用車2 台及び軽自動 車2台焼損
60	4月25日	19時20分	20時58分	119	林野						原木、竹及び 落葉221㎡焼 損
61	4月25日	20時15分	4月26日 2時14分	119	建物			2		1	木造2階建て 蔵141.95㎡全 焼、木造2階 建て店舗兼住 宅202㎡全 焼、木造平屋 建て農業用倉 庫6.93㎡部分 焼、飲料品 141本焼損
62	4月27日	17時25分	20時15分	加入	建物					1	木造2階建て 一般住宅2.71 ㎡部分焼
63	4月28日	21時00分	23時04分	119	その他						立木、原木及 び枯草44.29 ㎡焼損
64	4月28日	23時00分	4月29日 0時01分	加入	その他						枯草及びごみ 46.2㎡焼損
65	4月29日	14時00分	18時15分	119	建物			2		1	木造2階建て 一般住宅 91.09㎡全 焼、鉄骨造2 階建て一般住 宅104.34㎡全 焼、木造2階 建て8.25㎡ぼ や、立木、枯 草229.01㎡焼 損
66	5月1日	21時33分	23時33分	119	林野						竹林254㎡及 び普通乗用車 1台焼損
67	5月4日	13時35分	13時57分	119	建物		1			1	収容物のみ焼 損、35歳男性 1名中等症

68	5月5日	23時00分	5月6日 0時13分	119	林野						竹林 412.5 m ² 焼損
69	5月6日	22時20分	23時53分	119	林野						竹林 301 m ² 、 立木 3 本及び 廃棄物焼損
70	5月17日	13時10分	15時23分	その他	その他						枯草及び篠竹 3,046 m ² 、冷 蔵庫 1 台焼損
71	5月24日	12時40分	13時31分	119	建物					1	木造平屋建て 飲食店 18.7 m ² 部分焼
72	5月29日	21時05分	5月30日 0時04分	119	建物			1			木造 2 階建て 一般住宅 132 m ² 全焼、芝畑 260 m ² 焼損
73	5月30日	7時40分	8時07分	加入	建物						1 収容物のみ焼 損
74	5月30日	11時00分	12時46分	119	建物						1 その他造平屋 建て店舗 0.93 m ² ぼや
75	5月31日	20時10分	20時43分	119	林野						竹及び落葉 7.36 m ² 焼損
76	6月1日	6時15分	7時28分	119	車両						普通乗用車 1 台焼損
77	6月1日	20時30分	21時05分	119	その他						篠竹、下草及 び廃棄物 6.75 m ² 焼損
78	6月3日	19時15分	20時16分	加入	建物					1	木造 2 階建て 一般住宅 7.2 m ² 部分焼
79	6月15日	2時00分	2時45分	119	建物						1 収容物のみ焼 損
80	6月15日	20時40分	21時43分	119	建物			1			1 木造平屋建て 物置 37.38 m ² 全焼及び工場 7.65 m ² ぼや
81	6月18日	6時00分	6時57分	119	その他		1				95 歳男性 1 名 重症
82	6月18日	18時17分	18時30分	その他	車両						大型自動二輪 車 1 台焼損

83	6月20日	19時30分	20時53分	119	建物					1	R C造平屋建て研究所 2.09 m ² 部分焼
84	6月22日	18時27分	18時47分	119	建物					1	木造平屋建て一般住宅 0.281 m ² ぼや
85	6月28日	20時20分	21時00分	119	建物					1	その他造平屋建て倉庫 0.54 m ² ぼや
86	7月4日	6時45分	7時23分	119	林野						立木焼損
87	7月6日	8時35分	8時57分	事後 聞知	建物					1	収容物のみ焼損
88	7月16日	12時33分	13時07分	119	車両						軽自動車1台焼損
89	7月16日	16時50分	17時52分	119	建物					1	収容物のみ焼損
90	7月16日	17時30分	7月17日 0時39分	119	建物			1		1	R C造2階建て作業所 20.56 m ² 部分焼、38.40 m ² 水損、木造平屋建てプレハブ物置 9.60 m ² 全焼
91	7月17日	14時00分	15時31分	その他	その他						枯草、落葉、刈り取った芝 424 m ² 焼損
92	7月18日	4時27分	5時17分	加入	その他						ごみ類 15 m ² 焼損
93	7月20日	18時50分	20時20分	119	その他						ごみ及び下草 534.5 m ² 焼損
94	7月25日	12時52分	13時31分	119	その他						枯草 0.8 m ² 焼損
95	7月26日	10時00分	11時00分	その他	その他						枯草 775 m ² 焼損
96	7月29日	15時30分	17時02分	加入	林野						立木1本焼損
97	7月31日	12時35分	13時44分	119	その他						枯草及び木材チップ 1,068 m ² 焼損

98	7月31日	14時16分	14時48分	119	その他						休耕地 102 m ² 焼損
99	8月1日	9時30分	10時50分	119	建物			1		1	その他造2階 建て倉庫 108.50 m ² 全 焼、その他造 平屋物置 5.5 m ² 部分焼、2 t ダンプ1台焼 損、普通自動 車2台焼損、 自転車3台焼 損
100	8月1日	10時30分	12時03分	119	その他						立木1本、塩 ビ波板1枚焼 損
101	8月2日	21時40分	21時45分	事後 聞知	建物					1	収容物のみ焼 損
102	8月6日	19時58分	20時25分	119	建物					1	木造2階建て 住宅 0.0153 m ² ぼや
103	8月8日	2時00分	3時44分	119	建物			1			木造2階建て 一般住宅 22.14 m ² 半焼
104	8月12日	3時25分	3時45分	119	建物					1	R C造5階建 て飲食店 4.5 m ² 部分焼
105	8月24日	11時50分	13時10分	119	車両						塵芥車1台焼 損
106	9月5日	8時35分	8時45分	事後 聞知	建物					1	収容物のみ焼 損
107	9月10日	15時14分	15時57分	119	建物		2			1	R C造14階 建て共同住宅 9.91 m ² 部分 焼、70歳男性 1名中等症、 94歳女性1名 重症
108	9月13日	4時50分	5時32分	加入	その他						パイロン1本 トイレットペ ーパー、案内 板 1.33 m ² 及び 1.585 m ² 焼損

109	9月16日	22時20分	9月17日 0時14分	119	林野						竹、立木及び 落葉 42 m ² 焼 損
110	9月17日	18時45分	19時34分	119	車両						普通自動車1 台、立木、枯 草 10.8 m ² 焼 損、案内標識 焼損、汚損
111	9月20日	17時00分	17時24分	119	その他						芝畑及び雑草 の一部焼損
112	9月26日	10時40分	10時59分	119	車両		1				8トントラッ ク1台焼損 57歳男性1名 軽症
113	10月1日	23時30分	10月2日 4時03分	加入	建物	1		1			木造2階建て 一般住宅 92.34 m ² 全 焼、50歳男性 1名死亡
114	10月5日	12時20分	12時48分	119	建物					1	収容物のみ焼 損
115	10月7日	13時00分	15時08分	119	その他						集積された芝 草、篠竹及び 下草 1,058.98 m ² 焼損
116	10月15日	7時40分	10時11分	119	建物			1		1	木造平屋建て 倉庫 288.58 m ² 全焼、木造2 階建て住宅 27.63 m ² 部分 焼
117	10月18日	11時36分	14時49分	119	車両						塵芥車1台及 び収集したご み焼損
118	10月23日	18時35分	19時47分	119	その他						椅子 200脚、 タイヤ 76 本、洗濯機 1 台ソーラーパ ネル 100枚、 テレビ 20 台、コンテナ 1台、発電機 1台焼損

119	10月27日	12時00分	13時55分	119	その他						休耕田内に集積されたごみ、篠竹及び下草 2,447.5 m ² 焼損
120	10月27日	12時20分	13時25分	119	その他						立木、伐採した樹木及び下草 126 m ² 焼損
121	10月28日	9時15分	11時27分	119	建物				1		木造2階建て一般住宅 60.5 m ² 半焼
122	10月28日	9時35分	10時13分	119	建物					1	木造2階建て倉庫兼美容室 1.17 m ² 部分焼及び積算電力計1基焼損
123	10月29日	11時10分	11時30分	事後 聞知	建物						1 木造2階建て住宅 0.00125 m ² ぼや
124	11月5日	14時45分	15時00分	事後 聞知	建物						1 木造2階建て住宅 0.14 m ² ぼや
125	11月12日	17時25分	18時16分	119	建物					1	木造平屋建て作業所 54.4 m ² 部分焼
126	11月19日	14時00分	20時49分	119	建物			1			鉄骨造3階建て倉庫 845.91 m ² 全焼
127	11月21日	23時25分	11月22日 1時38分	119	建物					1	その他造2階建て共同住宅 28 m ² 部分焼
128	11月22日	15時45分	16時07分	119	建物					1	鉄骨造2階建て作業場 1.68 m ² 部分焼
129	12月1日	21時36分	23時20分	119	建物						1 木造2階建てデイサービス 0.46 m ² ぼや
130	12月4日	12時50分	13時59分	119	その他						下草 42.87 m ² ビニールハウス3棟、枯草 31.56 m ² 焼損
131	12月18日	9時00分	9時48分	119	その他						仮設トイレ1基及び集積された木材焼損

132	12月18日	18時30分	20時59分	119	建物					1	木造2階建て住宅4.92㎡部分焼、雨どい1本焼損
133	12月25日	13時40分	13時45分	事後 聞知	建物		1			1	木造平屋建て飲食店12.5㎡部分焼、74歳男性1名中等症
134	12月27日	3時38分	4時10分	119	その他						落葉5.92㎡焼損
計						6	11	19	4	26	23

第6節 救急編



1 救急出場状況

令和5年中の救急出場件数は12,387件で救急搬送人員は11,400人でした。前年と比較すると出場件数は、1,467件増加し、搬送人員は、1,587人の増加となっております。

また、1日平均33.9件、約42分に1回の割合で救急出場し、住民の約22人に1人が救急搬送されたことになります。

救急出場件数及び搬送人員

(2023年1月～12月)

区 分	令和5年	令和4年	増減数	一日平均
出場件数	12,387件	10,920件	+1,467件	33.9件
搬送件数	11,279件	9,685件	+1,594件	30.9件
搬送人員	11,400人	9,813人	+1,587人	31.2人
不搬送件数	1,108件	1,235件	-127件	3.03件

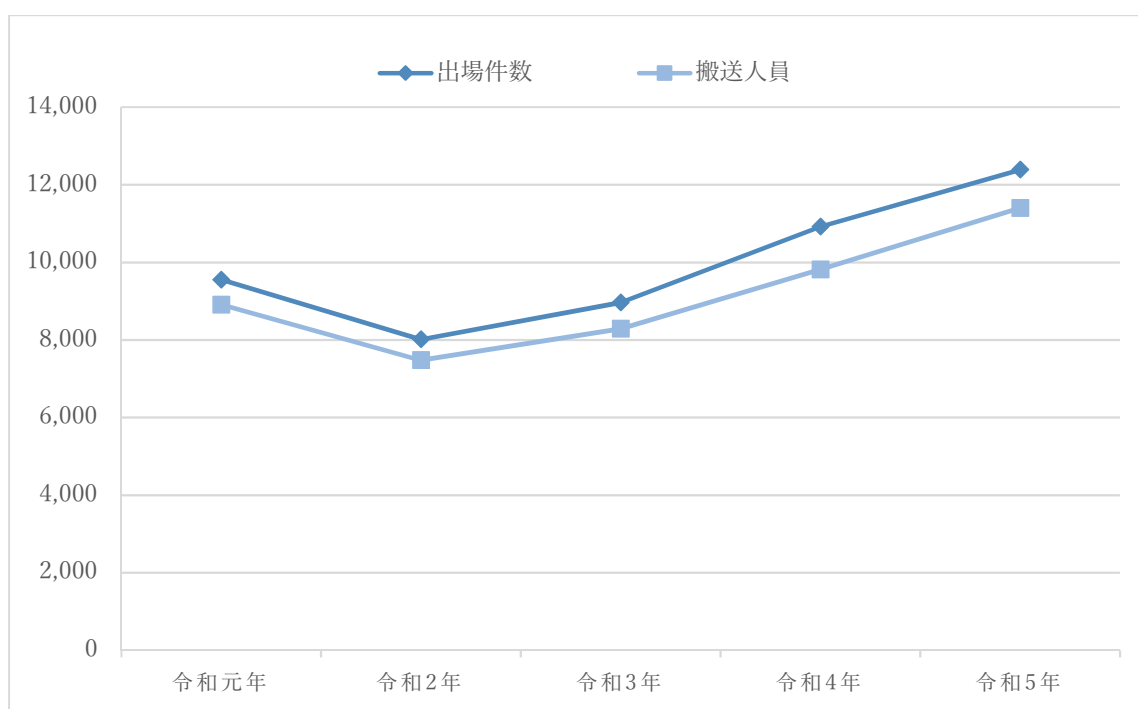
2 署所別救急出場件数及び搬送人員

(2023年1月～12月)

区分 署所別	出 場 件 数		搬 送 人 員
	件 数	割合 (%)	
計	12,387件	100.0%	11,400人
中央消防署	2,941件	23.7%	2,769人
豊里分署	923件	7.5%	854人
桜分署	1,568件	12.7%	1,413人
並木分署	1,869件	15.1%	1,705人
北消防署	1,301件	10.5%	1,208人
筑波分署	579件	4.7%	510人
南消防署	1,952件	15.8%	1,792人
荃崎分署	1,254件	10.0%	1,149人

3 過去5年間の事故種別と搬送人員の推移

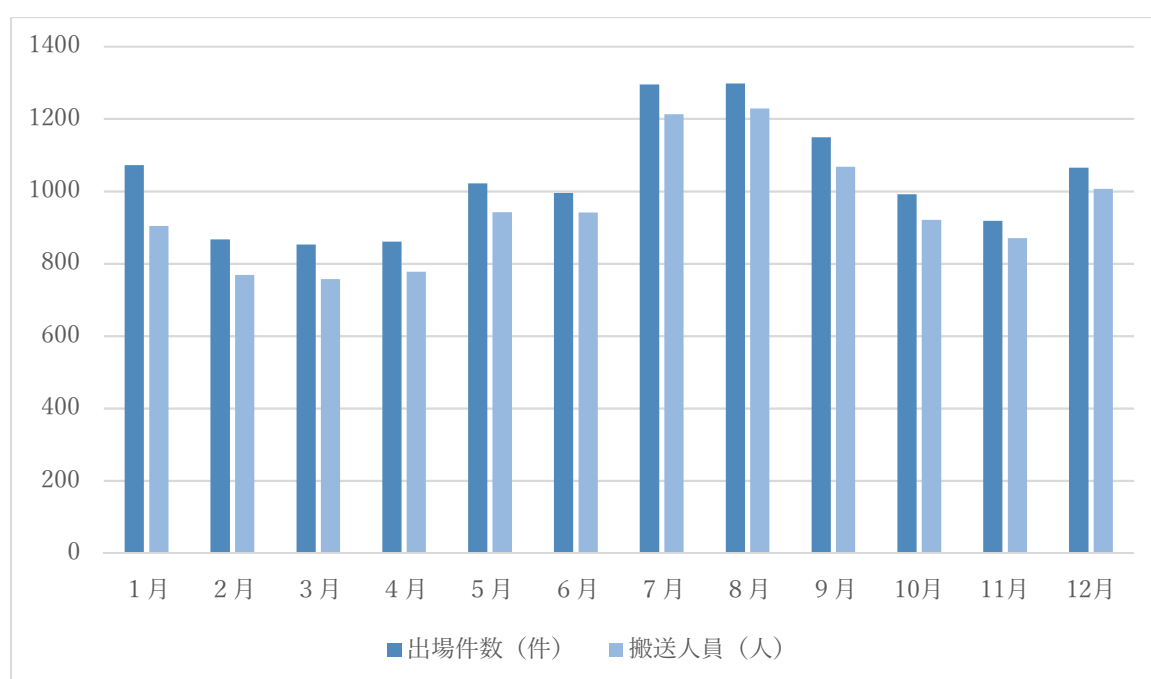
年別	区分 総件数	事故種別														搬送人員
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他	
R1	9,554	37	1	3	974	90	88	1,117	48	106	5,850	1,029	2	1	148	8,906
R2	8,013	39	0	1	783	92	55	1,139	28	85	4,911	781	0	0	99	7,478
R3	8,964	48	0	4	856	85	57	1,173	30	89	5,623	898	1	0	100	8,290
R4	10,920	34	0	4	906	117	98	1,397	33	107	7,107	904	1	1	211	9,813
R5	12,387	66	2	3	973	142	105	1,488	29	125	8,170	1,051	0	0	233	11,400



4 月別救急出場件数及び搬送人員

(2023 年 1 月～12 月)

月 別	区分 総件数	事故種別														搬 送 人 員
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他				
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他	
計	12,387	66	2	3	973	142	105	1,488	29	125	8,170	1,051	0	0	233	11,400
1	1,072	7			80	4	2	147	4	7	696	107			18	904
2	867	7			77	11	7	98	7	11	560	80			9	769
3	853	5			78	7	11	103	2	5	561	68			13	757
4	861	6			72	12	8	109	1	9	547	80			17	778
5	1,022	7			85	8	8	118	2	10	686	81			17	942
6	995	8	2	1	82	7	9	128		13	650	81			14	941
7	1,295	3			86	23	17	135	5	14	869	102			41	1,213
8	1,298	5		1	95	19	10	114	1	14	902	102			35	1,229
9	1,149	4			78	15	8	131	1	8	795	92			17	1,068
10	992	5		1	80	16	10	145		11	622	81			21	921
11	918	4			84	7	10	136	2	11	568	83			13	871
12	1,065	5			76	13	5	124	4	12	714	94			18	1,007



5 曜日別救急出場件数及び搬送人員

(2023 年 1 月～12 月)

曜日 区分	計	日	月	火	水	木	金	土
出場件数	12,387	1,825	1,779	1,706	1,797	1,797	1,759	1,724
搬送人員	11,400	1,656	1,624	1,602	1,655	1,669	1,636	1,558

6 時間帯別救急出場件数

(2023 年 1 月～12 月)

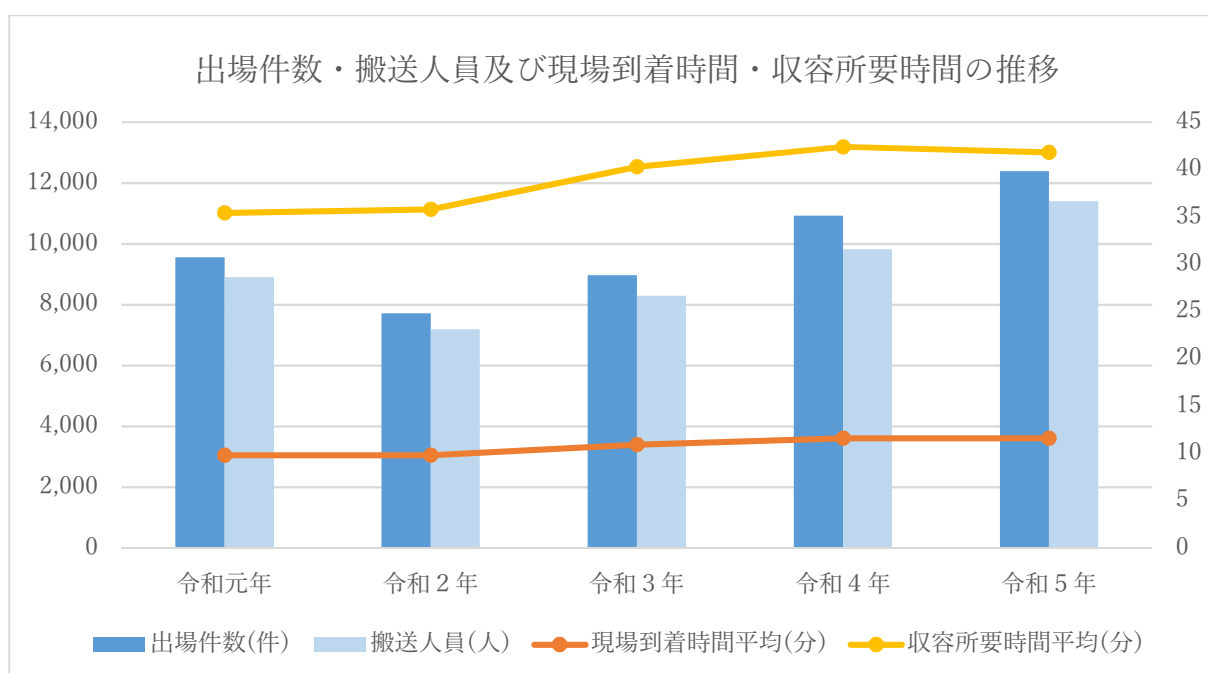
種別 時間	計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自傷 行為	急病	その 他
計	12,387	66	2	3	973	142	105	1,488	29	125	8,170	1,284
0～2	554	1		1	21			39	7	7	455	23
2～4	444	3			9	1		30	1	8	378	14
4～6	486				20			42	1	15	387	21
6～8	837	7			86	5	2	98	3	6	615	15
8～10	1,376	6			153	26	7	180		8	836	160
10～12	1,460	6			96	37	18	183	1	14	873	232
12～14	1,419	8			103	22	22	184	1	4	849	226
14～16	1,338	9	1	1	114	21	22	183		9	796	182
16～18	1,327	6			147	21	15	192	2	17	751	176
18～20	1,253	7	1	1	119	3	11	146	5	18	833	109
20～22	1,121	8			67	5	7	130	3	8	811	82
22～24	772	5			38	1	1	81	5	11	586	44

7 現場到着所要時間別救急出場件数

現場到着 所要時間 年 別	3 分未満	3 分以上 5 分未満	5 分以上 10 分未満	10 分以上 20 分未満	20 分以上	計 (件)	平均 (分)
令和元年	90	117	4,678	4,533	136	9,554	9.8
令和 2 年	46	101	3,830	3,919	117	8,013	9.8
令和 3 年	63	50	3,449	5,199	203	8,964	10.9
令和 4 年	60	54	3,079	7,210	517	10,920	11.6
令和 5 年	69	63	3,651	8,167	437	12,387	11.6

8 収容所要時間別搬送人員

収容 所要時間 年 別	10 分 未満	10 分以上 20 分未満	20 分以上 30 分未満	30 分以上 60 分未満	60 分以上 120 分未満	120 分 以上	計 (人)	平均 (分)
令和元年	3	148	2,537	5,941	271	6	8,906	35.4
令和 2 年	1	106	1,945	5,170	239	17	7,478	35.8
令和 3 年		60	1,619	6,141	458	12	8,290	40.3
令和 4 年		38	1,302	7,417	1,000	56	9,813	42.4
令和 5 年		77	1,731	8,543	983	66	11,400	41.8



9 年齢区分別及び傷病程度別搬送人員

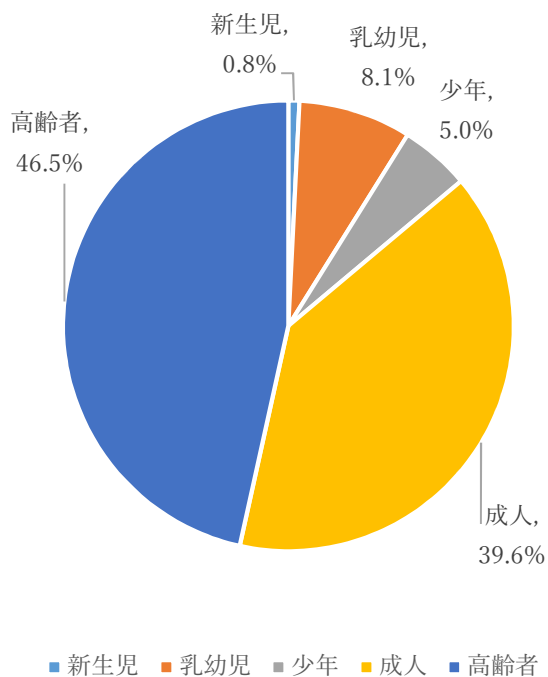
(2023 年 1 月～12 月)

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計
死亡			1	16	76	93
重症	2	35	16	258	556	867
中等症	72	198	130	1,572	2,770	4,742
軽症	15	691	430	2,663	1,897	5,696
その他					2	2
計	89	924	577	4,509	5,301	11,400

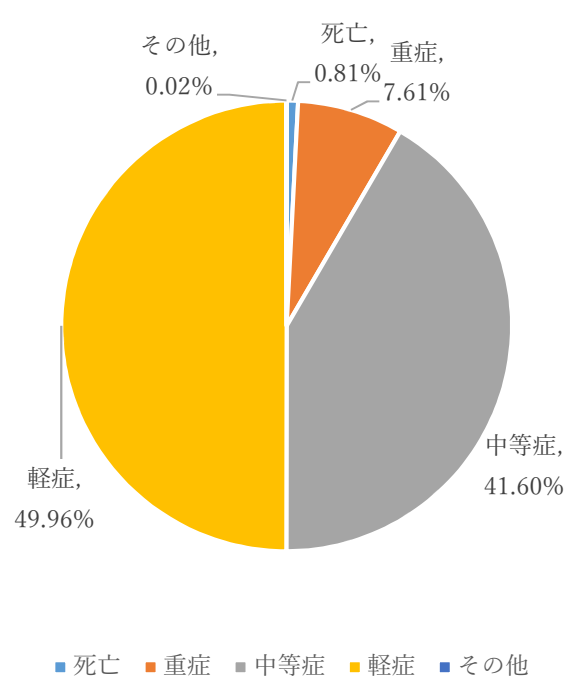
(注) 年齢区分は次による。

- (1) 新生児 生後 28 日以内
- (2) 乳幼児 生後 29 日以上満 7 歳未満
- (3) 少年 満 7 歳以上満 18 歳未満
- (4) 成人 満 18 歳以上満 65 歳未満
- (5) 高齢者 満 65 歳以上

年齢区分別



傷病程度別



10 救急隊員の行った応急処置件数

(2023 年 1 月～12 月)

応急処置 内 訳		応急処置 対象人員
止血		217 人
固定		434 人
人工呼吸		29 人
心マッサージ	総数	1 人
	(うち自動)	(0 人)
心肺蘇生	総数	185 人
	(うち自動)	(135 人)
酸素吸入		1,751 人
気道確保	総数	277 人
	(※ 1)	(71 人)
保温		5,820 人
被覆		538 人
在宅治療継続		27 人
除細動		17 人
静脈路確保 (輸液)		208 人
薬剤投与		78 人
その他の応急処置		11,080 人
血圧測定		10,509 人
聴診器による心音・呼吸音の聴取		2,882 人
血中酸素飽和度の測定		11,207 人
心電図		4,213 人
血糖測定		182 人
エピペン投与		1 人
ブドウ糖投与		33 人
応急処置計		49,689 人

※ 1

- ・経鼻エアウェイを使用しての気道確保
- ・喉頭鏡、鉗子等を使用しての異物除去
- ・救急救命士が器具等を使用しての気道確保

} を行った件数

11 応急手当講習会開催状況

(2023 年 1 月～12 月)

講習種別	開催回数	受講者数	備考
普通救命講習Ⅰ	132 回	2,032 人	講習時間 3 時間
普通救命講習Ⅱ	0 回	0 人	講習時間 4 時間
普通救命講習Ⅲ	73 回	1,110 人	小児を対象とした救命講習
上級救命講習	2 回	39 人	講習時間 8 時間
救命入門コース	49 回	809 人	小学校高学年・中学生対象
その他の講習	47 回	871 人	上記以外の講習
合 計	303 回	4,861 人	

第7節 救助編



1 事故種別出動及び活動件数

(2023 年 1 月～12 月)

事故種別 件数区分	計	火 災		交通 事故	水難 事故	自然災 害事故	機械 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他
		建物	建物 以外								
出 動 件 数	208	39	15	45	4	3	1	18	6		77
活 動 件 数	143	39	15	23	3	1		11	5		46

2 事故種別救助人員及び車両別搬送人員

(2023 年 1 月～12 月)

事故種別 救助人員 搬送車両区分		計	火 災		交通 事故	水難 事故	自然災 害事故	機械 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他
			建物	建物 以外								
救助人員		109	6	1	27	3	3		12	5		52
搬送車両等の内訳	計	62	1	1	26	2	0	0	8	2	0	22
	救急自動車	56	1	1	26	2			8	2		16
	消防機関以外の車両等	6										6

※ ヘリコプターで搬送した人員を「消防機関以外の車両等」に加えて計上した。

3 事故種別出動人員及び活動人員

(2023 年 1 月～12 月)

事故種別 出動人員 活動人員		計	火 災		交通 事故	水難 事故	自然災 害事故	機械 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他
			建物	建物 以外								
出 動 人 員	計	2,558	363	116	667	62	32	17	244	82	0	979
	専任救助隊員	806	223	55	149	13	7	4	58	21		276
	兼任救助隊員	102				2			1			99
	消 防 隊 員	974	20	20	330	34	15	10	130	46		369
	救 急 隊 員	676	116	41	188	13	10	3	55	15		235
活 動 人 員	計	868	133	14	161	39	7	0	90	26	0	398
	専任救助隊員	352	111	8	58	9			27	14		125
	兼任救助隊員	90				2						88
	消 防 隊 員	202	7		58	18	4		38	6		71
	救 急 隊 員	224	15	6	45	10	3		25	6		114

4 事故種別出動車両台数

(2023 年 1 月～12 月)

事故種別 車両区分		計	火 災		交通 事故	水難 事故	自然災 害事故	機械 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他
			建物	建物 以外								
計		788	125	38	190	17	8	5	70	27	0	308
出 動 車 両 等	救助工作車	217	46	15	46	4	2	1	17	6		80
	消防ポンプ自動車	32			9		1	1	6	2		13
	はしご車	49	34	3	1				1			10
	化 学 車	0										0
	指揮車・指令車	255	7	3	69	9	1	2	27	13		124
	救急自動車	223	38	13	62	4	3	1	18	6		78
	そ の 他	12		4	3		1		1			3

※ボート隊の出動件数を車両区分中「その他」の欄に加えて計上した。

5 事故種別活動車両台数

(2023 年 1 月～12 月)

事故種別 車両区分		計	火 災		交通 事故	水難 事故	自然災 害事故	機械 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他
			建物	建物 以外								
計		237	51	5	38	6	2	0	23	8	0	104
活 動 車 両 等	救助工作車	99	27	2	16	3			8	4		39
	消防ポンプ自動車	16			2		1		4	2		7
	はしご車	16	15	1								
	化 学 車	0										
	指揮車・指令車	29	2		3	1			3			20
	救急自動車	77	7	2	17	2	1		8	2		38
	そ の 他	0										

※ボート隊の活動件数を車両区分中「その他」の欄に加えて計上した。

第 8 節 消防団編



1 消防団の沿革

昭和 62 年	11 月	筑波郡大穂町・谷田部町・豊里町及び新治郡桜村の 3 町 1 村の合併に伴い、「つくば市消防団」と名称を変更し、タッチゾーン方式により独立した消防団となり、4 人の団長となる。
昭和 63 年	1 月	筑波郡筑波町との合併により、旧 5 町村 5 人の団長となる。
平成 3 年	4 月	消防団の機構改革を行い、1 市 1 団となり、組織は団本部・5 支団・60 分団・団員数 957 人となる。 初代団長に大塚光（旧大穂町団長）、副団長に小林貞夫（旧豊里町団長）宮本吉三（旧谷田部町団長）、吉田利男（旧桜村団長）、石島正三（旧筑波町団長）が就任する。
平成 14 年	11 月	つくば市に稲敷郡茎崎町が編入合併により、6 支団・81 分団・団員数 1,332 人となる。 つくば市行政組織が再編され「市民環境部消防交通課」から「つくば市消防本部地域消防課」に事務局を移転する。
平成 16 年	4 月	筑波支団の組織改編により 75 分団・団員数 1,331 人となる。
平成 19 年	4 月	茎崎支団の組織改編により 62 分団・団員数 1,196 人となる。
平成 20 年	4 月	桜支団の組織改編により 40 分団・団員数 1,197 人となる。
平成 21 年	10 月	消防団の更なる組織の充実と強化のため、女性 40 人が入団し、女性支団を結成する。 女性支団の結成により団本部・7 支団・46 分団・団員数 1,259 人となる。
平成 22 年	3 月	初代消防団長大塚光退任する。
	4 月	倉持政博（副団長）消防団長に就任する。
平成 26 年	4 月	消防団員の条例定数を、1,200 人に改める。
平成 27 年	4 月	澤辺稔（副団長）消防団長に就任する。 桜支団の組織改編により 51 分団・団員数 1,132 人となる。
平成 28 年	4 月	桜支団、女性支団の組織改編により 48 分団・団員数 1,095 人となる。
平成 29 年	4 月	消防団員資格に、通学者を加える。
平成 31 年	4 月	土信田政司（副団長）消防団長に就任する。 つくば市消防団の組織改編により、女性支団が本部付分団となる。 団本部・6 支団・47 分団・団員数 1,041 人となる。
令和 5 年	4 月	銭谷幸男（副団長）消防団長に就任する。
令和 6 年	4 月	消防団員の条例定数を、950 人に改める。

2 消防団員数

（2024 年 4 月 1 日現在）

計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
853	1	20	67	47	46	136	536

※ 支団長・副支団長は副団長の階級に、指導員は分団長の階級にそれぞれ属す。

3 年齢・階級別消防団員数

(2024年4月1日現在)

年齢 \ 階級	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
計	853	1	20	67	47	46	136	536
18～20 歳	3							3
21～25 歳	7						1	6
26～30 歳	34			2	2	3	2	25
31～35 歳	60			2	1	7	14	36
36～40 歳	124			12	10	9	23	70
41～45 歳	217			14	17	13	47	126
46～50 歳	220		1	23	11	8	31	146
51～55 歳	118		1	11	2	4	12	88
56～60 歳	38		6	2	3	1	1	25
61 歳以上	32	1	12	1	1	1	5	11

※ 支団長・副支団長は副団長の階級に、指導員は分団長の階級にそれぞれ属す。

4 消防団配備等の現況

(2024年4月1日現在)

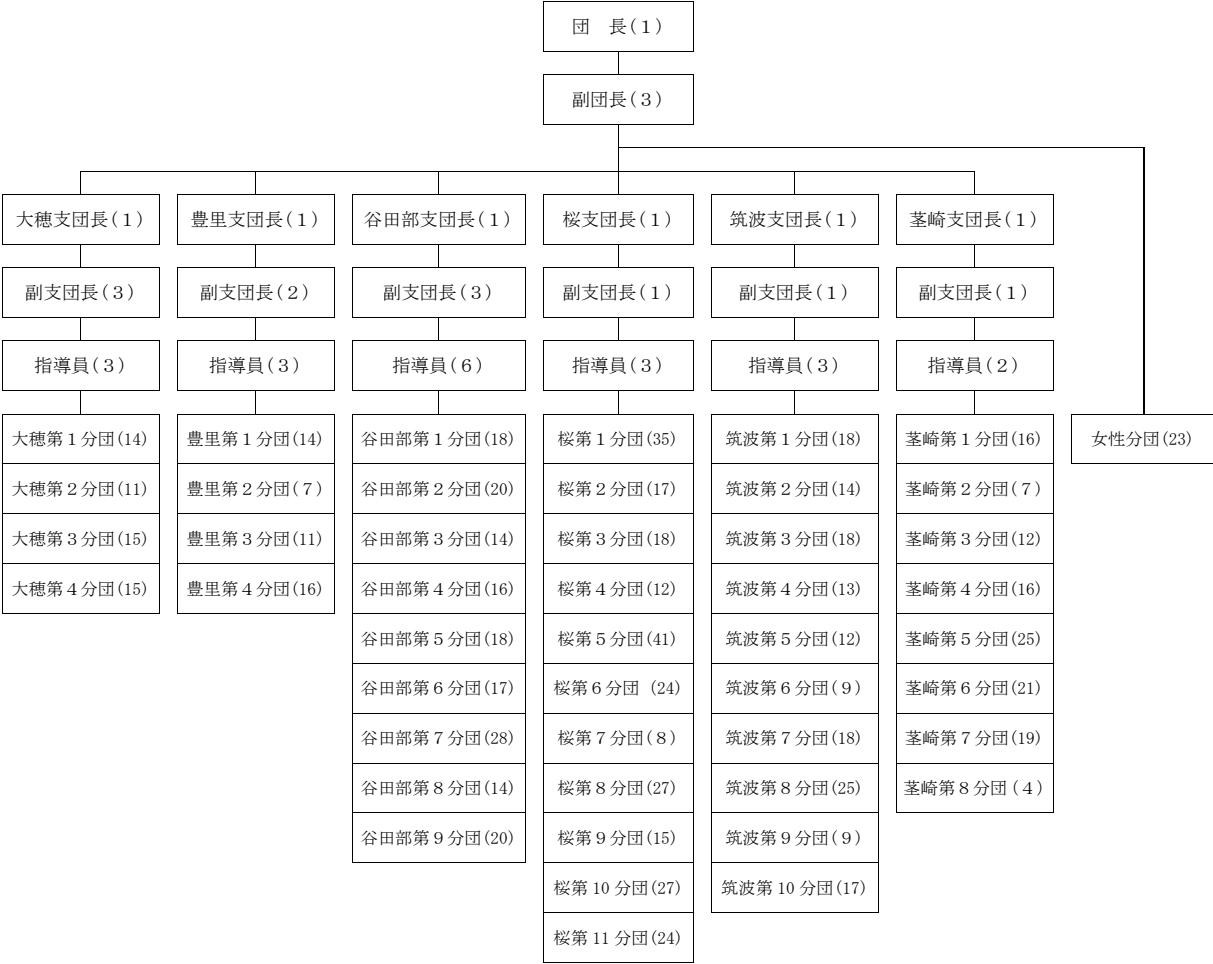
区 分	分団数	実員数	消防ポンプ 自動車 (水槽付)	消防ポンプ 自動車	可搬ポンプ 積載車	指令車	連絡車
本 部 役 員		41					
大 穂 支 団	4	52	2	3			
豊 里 支 団	4	48		4			
谷 田 部 支 団	9	176		9	注 1 1		
桜 支 団	11	252	1	注 2 10			
筑 波 支 団	10	155	1	11			
荃 崎 支 団	8	126		8			
女 性 分 団	1	27					
非常備消防管理						2	1
合 計	47	877	4	45	1	2	1

注 1：消防団多機能型車両

注 2：内 1 台、救助資機材搭載型消防ポンプ自動車(消防庁貸付車)

5 消防団組織体制

(2024 年 4 月 1 日現在)



※ () 内は人数

消防団実員数 (条例定数 950 人)

役 職	実動数 (うち女性)
団 長	1
副 団 長	3
支 団 長	6
副 支 団 長	11
指 導 員	20
分 団 長	47 (1)
副 分 団 長	47 (1)
部 長	46
班 長	136 (6)
団 員	536 (16)
合 計	853 (24)

6 火災出場件数及び出場人員

(2023 年 1 月～12 月)

	出 場 件 数	出 場 人 員
大 穂 支 団	18 件	213 人
豊 里 支 団	26 件	456 人
谷 田 部 支 団	28 件	1,000 人
桜 支 団	24 件	223 人
筑 波 支 団	24 件	292 人
荃 崎 支 団	13 件	368 人
計	133 件	2,552 人

7 女性分団活動状況

(2023 年 1 月～12 月)

	活 動 回 数	活 動 人 員
応 急 手 当 講 習	4 件	7 人
幼 児 防 火 教 室	5 件	20 人
研修会・啓発イベント等	13 件	40 人
会 議 ・ 訓 練 等	15 件	105 人
計	37 件	172 人



アスファルトにも負けない

ホシザキユキノシタのように…

消 防 本 部

〒305-0817

茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1

TEL 029-851-0119 (代)

FAX 029-851-0138

E-mail

fst010@city.tsukuba.lg.jp

消 防 総 務 課

同 上

TEL 029-851-3970

FAX 029-852-1710

予 防 課

同 上

TEL 029-851-2633

FAX 029-852-1475

消 防 救 助 課

同 上

TEL 029-851-2042

FAX 029-851-0091

救 急 課

同 上

TEL 029-851-0011

FAX 029-851-0091

消 防 指 令 課

同 上

TEL 029-851-0119

FAX 029-851-0138

地 域 消 防 課

同 上

TEL 029-883-1182

FAX 029-868-7583

中 央 消 防 署

〒305-0817

茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1

TEL 029-851-1691

FAX 029-851-3973

中央消防署豊里分署

〒300-2645

茨城県つくば市上郷606番地

TEL 029-847-8639

FAX 029-847-8643

中央消防署桜分署

〒305-0018

茨城県つくば市金田2040番地2

TEL 029-857-4150

FAX 029-857-4724

中央消防署並木分署

〒305-0044

茨城県つくば市並木一丁目2番地3

TEL 029-861-0123

FAX 029-861-0136

北 消 防 署

〒300-4246

茨城県つくば市上沢3番地

TEL 029-867-2355

FAX 029-867-2327

北消防署筑波分署

〒300-4353

茨城県つくば市沼田644番地

TEL 029-866-0176

FAX 029-866-0653

南 消 防 署

〒305-0856

茨城県つくば市観音台一丁目25番地3

TEL 029-838-0279

FAX 029-838-0262

南消防署荃崎分署

〒300-1255

茨城県つくば市小荃563番地1

TEL 029-876-1089

FAX 029-876-1784